

# 第14回廃棄物学会研究発表会 参加案内

10月22日(水)～10月24日(金)

- 開催期日：2003年10月22日(水)～10月24日(金)
- 会場：つくば国際会議場(エポカルつくば) (<http://www.epochal.or.jp>)  
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 TEL：029-861-0001 FAX：029-861-1209

## 【会場へのアクセス】

JR常磐線「土浦駅」または「ひたち野うしく駅」よりバスで「つくばセンター」下車、徒歩8分

土浦駅発(所要時間25分、料金510円)：8:00より10分おきに出発

ひたち野うしく駅発(所要時間25分、料金500円)：8:15(23日) 8:40(23日) 8:54(22日) 9:10(22日) 9:20(22日) 9:37

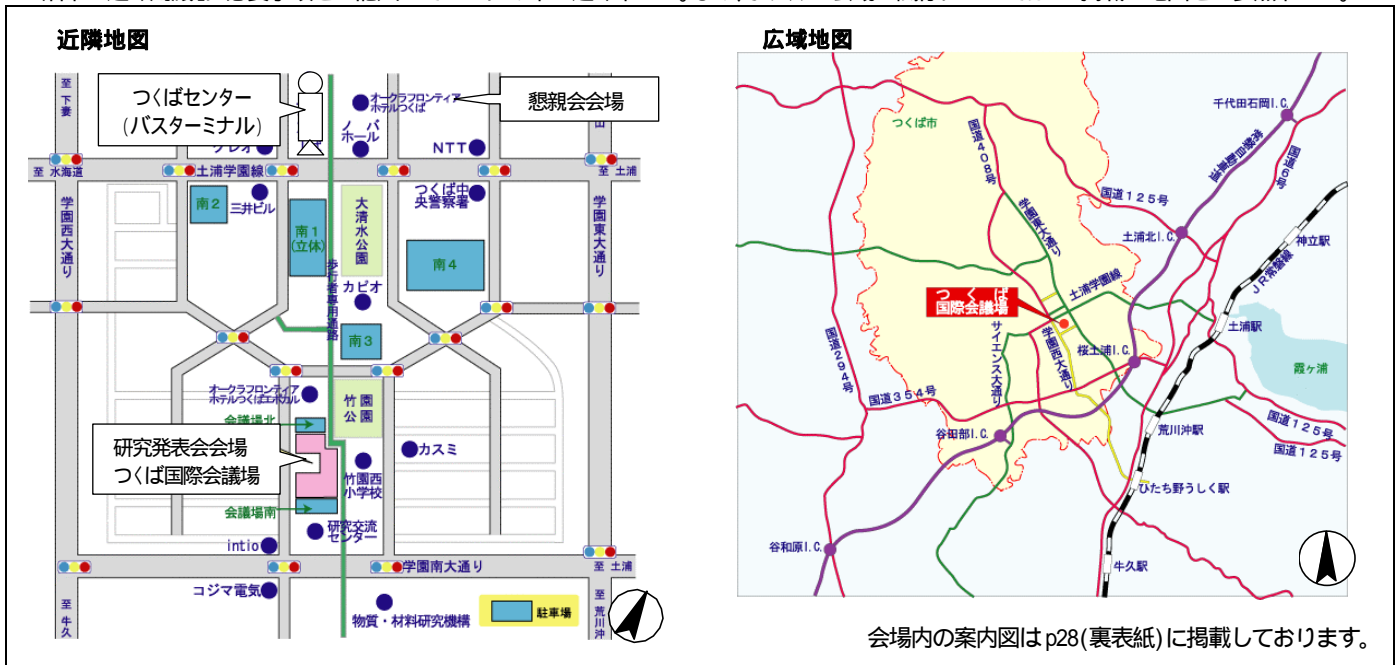
高速バス(東京駅、羽田空港、成田空港等より)にて「つくばセンター」下車、徒歩8分

東京駅発(所要時間70分、料金1,250円)7:40 7:50(23日) 8:00(22日、23日) 8:10(22日) 8:30(22日) 8:40 9:00

日付が入っている発車時刻のバスは、増便予定のものです。ご利用をお勧めします。

## 【宿泊の手配】

JTBを窓口として、つくば近隣のホテルを確保してあります。同封の用紙が、学会HPに掲載の「宿泊申し込み要項」をご参照の上、「宿泊申し込み用紙」に必要事項をご記入してJTBにお申し込み下さい。なお、ホテルと会場の関係についてはHP掲載の地図をご参照下さい。



## 3. 参加申込方法

- 事前申込：今回より印刷版論文集に加え、CD-ROM版論文集を作成します。この冊子に同封の参加申込方法をお読みの上、参加申込書に漏れなく記入し、廃棄物学会事務局までFAX又は郵送し、参加費を下記振込先へ振り込んで下さい(申込書の送付は振込作業より先に行ってください)。入金を確認し、登録完了後、参加証及び講演論文集(CD-ROM版で希望の場合)を郵送いたします。お届けは10月上旬頃となります。
- 事前申込締切：9月22日(月)・・・締切日以降に振り込まれますと参加証がお手元に届かない場合がありますのでご注意ください。
- 参加費：正会員並びに公益・賛助会員所属；8,000円、学生会員・登録団体市民会員；4,000円、非会員；12,000円  
論文集を両タイプ(CD-ROM版、印刷版)希望の場合は上記にプラス3,000円
- 申込先：〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5階 廃棄物学会事務局 Fax.03-3769-1492
- 振込先：

銀行名；みずほ銀行 芝支店(店番号：054)
口座名；廃棄物学会研究発表会(川付)カクツクツクツカクツカクツ)
口座番号；普通 2504706 【振込手数料はご負担願います】
- 当日申込：事前申込ができなかった方は、会場にて当日受付をご利用下さい。参加費は事前申込と同じです。ただし、印刷版論文集は事前申込み数を元に印刷部数を決定しますので、ご希望に添えないことがございます。現金払いのみで、後払いは一切承っておりません。なお、参加費は釣銭のないようご用意願います。

#### 4. 開催内容：

##### 1) 研究発表：428件（口頭発表282件、ポスター発表146件）

ポスター発表は二日に分けて行います。発表日についてはプログラムをご覧ください。

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。優秀ポスター賞は二日目の懇親会において審査結果の発表・表彰を行うと共に、後日廃棄物学会ニュース等に掲載いたします。

##### 2) 平成14年度廃棄物学会賞受賞者記念講演：10月23日（木）15:15-15:45 第1会場、第2会場

論文賞、著作賞の受賞者講演を第1会場で、奨励賞の受賞者講演を第2会場で行います。プログラムをご覧ください。

##### 3) 特別講演：10月23日（木）13:50 - 15:00 大ホール

<一般公開企画として、参加費無料で一般の方もご参加いただけます。>

「フィリピンのごみ捨て場と子供たちから学んだもの ~『神の子たち』『忘れられた子供たち/スカベンジャー』を撮影して~」

演者：映画監督 四ノ宮浩

趣旨：フィリピンでは有名なスモークーマウンテンが1995年に閉鎖されてからも、マニラ首都圏のパヤタスごみ捨て場で、さらに大規模でのごみ投棄が続けられています。そこでは、日本では想像できないような劣悪な環境のなか、多数の子供たちや家族がたくましく暮らしています。現地のごみ処理システムの問題点にとどまらず、物質的豊かさの意味など、私たちが考えさせられる課題は多いです。

映画「忘れられた子供たち/スカベンジャー」(1995年)に続き、「神の子たち」(2002年)を発表された四ノ宮浩監督から現地の状況をご紹介頂き、アジアと日本の社会を見つめ直す機会としたいと思います。なお、市民展示としても関連のコーナーを設けますので、お立ち寄りください。

##### 4) 日韓シンポジウム及び国際セッション

国際委員会の企画による日韓シンポジウムを開催します。なお、国際セッションはポスター発表のみとなります。

日韓シンポジウム：10月22日（水）13:00 - 15:30 第8会場（使用言語：英語）

「日韓のEPRの現状と課題 - EPRで廃棄物問題を解決できるか -」(仮題)

趣旨：電気電子リサイクル法、容器包装リサイクル法等が整備され、生産者が廃棄物のリサイクルまで考慮すべきという、拡大生産者責任（EPR）をベースとしている。しかし、実施にあたっては、種々の問題が見出されており、日韓両国の実施状況を紹介してもらい、今後の考え方を模索する。

司会：杉山涼子（廃棄物学会国際委員会）

キーノート：「国際的なEPRの動向（仮題）」

佐野敦彦（廃棄物学会国際委員会）

パネリスト：「日本におけるEPRの現状（仮題）」

田中 勝（岡山大学）

「韓国におけるEPRの現状（仮題）」

未定（韓国）

「日本におけるEPR実施上の課題（仮題）」

未定（日本経済団体連合会）

「韓国におけるEPR実施上の課題（仮題）」

未定（韓国）

国際セッションの研究発表：10月22日（水）16:00 - 17:30 多目的ホール

40件（ポスター発表）

##### 5) 小集会

廃棄物焼却研究部会、埋立処分研究部会 10月22日（水）18:30 - 20:30 第1会場

「都市ごみ処理における焼却処理と埋立処分のインターフェイス（それぞれの役割）を考える」

趣旨：都市ごみ処理は極めて高い安全安心を求めて高度化・高コスト化し、知恵を働かせて環境安全性・合理性・経済性を追求する姿勢を欠いている。どのような生産・消費社会になっても、可能な限りの再生利用を行いつつも焼却と埋立は最終で不可欠な廃棄物自然還元方法である。この小集会では、焼却と埋立の関係を議論することで、資源と環境が有限な社会において、生産から廃棄に至る過程の改善も含めて都市ごみ処理はどうあるべきかを考える場をしたい。そのため、埋立部会側から埋立処分の現状から見た、焼却処理への課題・注文を提起し、焼却部会側がそれを受けて議論する形で行う。

パネリスト（予定）

埋立部会：田中信壽（北海道大学）

樋口壮太郎（福岡大学）

大迫政浩（(独)国立環境研究所）

四阿秀雄（東京都環境科学研究所）

焼却部会：武田信生（京都大学）ほか

有害廃棄物研究部会 10月22日(水) 18:30 - 20:30 第3会場

「有害廃棄物対策の最新の動き」

本研究部会では、毎年、小集会で有害廃棄物問題に関する新しい話題提供と今後の方向を考える場を企画しています。今年も皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム：

1. 廃棄物処理と有害大気汚染物質

中杉修身、金 再奎 (国立環境研究所)

大気中のニッケルや水銀などについて新たに指針値が設定され、廃棄物処理の係わりを検討する必要が生じてくるものと思われる。PRTRの届出状況と有害大気汚染物質モニタリング結果の解析を通じて、廃棄物処理と有害大気汚染物質との関連について考えてみたい。

2. 廃棄物リサイクルにおける有害物質生成挙動と今後の課題

酒井伸一 (国立環境研究所)

廃木材等の廃棄物のリサイクルに伴う重金属類や POPs の生成挙動、排出抑制対策など、研究の最新情報を紹介し、今後の課題を述べる。

3. 廃プラスチックリサイクルと有害化学物質管理

(交渉中)

廃プラスチックリサイクルの国内外の現状、リサイクルに伴う有害化学物質管理の現状や制度・技術的な課題、今後の展望を述べる。

4. PCB 汚染物処理の現状と今後の課題

中野 武 (兵庫県立健康環境科学研究所)

様々な性状や形状の PCB 汚染物の保管状況や適切な処理方法等について紹介し、処理を進めるための今後の課題を述べる。

バイオマス系廃棄物研究部会 10月22日(水) 18:30 - 20:30 第6会場

「バイオマス・ニッポンを廃棄物学で切る」(仮題)

趣旨：『循環型社会の構築と地球温暖化防止という差し迫った課題を解決してゆくために関連府省が連携して「バイオマス・ニッポン総合戦略」が策定された。これまでのワンウェイ社会からリサイクル社会の創造という目的で、工業原料とエネルギー資源を石油からバイオマスへ転換するという大きな政策の変換である。パラ色の将来像が浮かんでくるが、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを基本として構築されてきた廃棄物学の立場からこの政策を判断すればどうであろうか？基本的な廃棄物のカスケード利用や最終的な安全性も含めた廃棄物のライフサイクルアセスメントの観点から考えると矛盾点は無いのか？これらの視点から「バイオマス・ニッポン総合戦略」を議論する。』

プログラム

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 農林水産省担当者          | 「バイオマス・ニッポン総合戦略について(仮題)」 |
| 2. 日向貴久(北海道立根釧農業試験場) | 「未定」                     |
| 3. 未定                | 「未定」                     |

廃棄物試験検査法研究部会 10月22日(水) 18:30 - 20:30 第7会場

「試験・検査法の転換期～循環・廃棄物の現場は何を求めている？～」(仮題)

趣旨：廃棄物を巡る状況の大幅な変化に対応して、廃棄物再資源化に伴うリサイクルシステムの形成や廃棄物の物流システムの変化に応じた試験・検査法の確立が望まれている。当部会では、このようなニーズに対して、試験・検査法が求められるマネジメント状況の整理や現状の問題点の抽出、国内外の試験・検査法の整理などを行い、試験・検査法の体系整備を進めるための各種検討を行ってきた。本小集会では、このような部会活動の成果を報告するとともに、試験・検査法活用の最前線で活躍しておられる方から「管理現場からの声」、「分析現場からの声」を報告いただき、試験・検査法に対して新たなニーズ等についてのディスカッションを行う。

社会経済研究部会 10月23日(木)16:00 - 18:00 第4会場

「飲料容器のリサイクルコストについて」(仮題)

趣旨：容器包装リサイクル法の施行6年を経ている。この間、容器包装リサイクルは進捗しているが、反面、いくつかの問題が提起されている。そのひとつにそれらのリサイクルに係るコスト - 市町村の収集、選別、保管と事業者の再商品化のコスト - がある。とりわけ、市町村のコストはいくつかのグループでその説明が続けられているが、十分な結果が得られていない。それらに関する調査の結果報告とパネルディスカッションを行う。

調査報告者：未定

パネリスト：未定

廃棄物計画研究部会 10月23日(木)16:00 - 18:00 第5会場

「資源循環 一体何が問題か？」

趣旨：循環型社会形成推進基本法が制定され、持続的な発展を維持するために循環型共生社会の実現が社会全体の共通目標となっている。このため、大量生産・大量消費・大量循環・大量廃棄型の経済システムを改め資源循環型の社会経済システムへの変更が現代社会の課題となっている。循環型社会を形成するうえで資源循環は重要な役割を担うが、市民、行政、事業者及び廃棄物管理計画者それぞれが実行しようとする資源循環を目指した役割の中で、既に問題を抱えつつある現状を、市民、行政、処理事業者、計画策定者それぞれの立場から報告する。これら報告をもとに、それぞれが資源循環にどのように関わって行くべきか、循環型社会を形成する為の制度設計はどうあるべきかなどを統一テーマとしてとりあげ、会場の皆さんと意見を交換し、循環型共生社会を実現するための廃棄物計画のあり方を議論していきたい。

司会：橋本 治((財)東京都環境整備公社)

挨拶：古市 徹(北海道大学)

パネリスト：中村恵子(酪農学園大学、環境カウンセラー)

「住民が取り組み可能な政策決定は循環型社会構築の要件」：市民の立場から  
神崎広史(千葉市)

「政策立案にあたって行政が担う役割 政策転換の可能性」：行政の立場から  
望月美登志(株フジタ)

「資源循環を進めるための法制度」：事業者(処理)の立場から  
馬場宏造(株システムクラフト)

「自治体財政とマクロ経済とのはざまでの計画論」：計画の立場から

リサイクルシステム技術研究部会 10月23日(木)16:00 - 18:00 第6会場

「素材としてのプラスチックに着目する」(仮題)

趣旨：リサイクルシステム・技術研究部会では、本年度から、素材としてのプラスチックに焦点を当てた検討を行っている。本小集会では、部会の中に設置された4つのWGごとに、これまでの調査研究内容に関する中間報告を行い、会員間の交流を深めると同時に、情報の共有化を図る。また、プラスチックの中間処理及び再資源化を行う事業者と、再資源化製品の利用事業者から、それぞれプラスチックリサイクルの実情について発表していただき、課題及び今後のシステムのあり方について意見交換を行う。

行政研究部会 10月23日(木)16:00 - 18:00 第7会場

「再考!! Waste Management 一般廃棄物処理をさらに合理的に進めるために」

趣旨：廃棄物の排出量が高水準で推移し、不適正処理が依然として問題になっているなど廃棄物処理を取り巻く状況は厳しい。平成15年6月、効率的な廃棄物処理を確保するため、制度の合理化を講ずることなどを主な内容とする廃棄物処理法の改正が行われた。行政研究部会では、一般廃棄物処理に焦点をあて、さらに制度上、実務上の合理性を高め将来の、あるべき一般廃棄物処理のあり方を模索することを目的とし小集会を開催する。

コーディネータ：早川哲夫(麻布大学)

パネリスト：環境省廃棄物リサイクル部担当官(依頼中)

四阿秀雄(東京都環境科学研究所)

秋場 豊(調布市 クリーンセンター)

長田 容(JFEエンジニアリング株)

- 6) 市民展示：10月22日(水)午後～10月24日(金)午前 1階エントランスホール(一部)、2階市民展示コーナーなど(予定)  
 <一般公開企画として、参加費無料で一般の方もご参加いただけます。>  
 特別講演関連コーナー 「神の子たち」ビデオ上映、パネル展示・書籍販売等  
 廃棄物学会誌C&G コーナー 調査報告・グリーンアート・ごみ減実践  
 つくば市民の活動 不法投棄とごみ地蔵(護美の会) 筑波山からのごみアート  
 つくばクリエイティブリサイクルなど

- 7) 若手の会：10月23日(木)12:20-13:40 第3会場  
 若手の会では、総会とイベントとして研究部会紹介を上記日程で開催します。バイキング形式の食事を楽しみながら、お互いの親睦を深め、研究を含めた情報交換が出来る楽しい懇談会にしたいと考えています。奮ってご参加下さい。なお準備の都合上、ぜひ事前にご連絡下さい。  
 参加費：1,500円程度(学生さんには大幅割引考えてます：請うご期待!!)  
 参加希望連絡先：<若手の会事務局 鈴木慎也 wakate@jswe.gr.jp Fax 092-863-8248>  
 詳しい情報は <http://www.jswe.gr.jp/wakate/> をご覧下さい。

- 8) 懇親会：10月23日(木)18:20-20:20 オークラフロンティアホテルつくば(アネックス1F・昴の間)  
 (1)参加費：6,000円(当日会場にてお支払い下さい。)  
 (2)申込方法：研究発表会初日より受付いたします。研究発表会参加証を懇親会受付にご提示下さい。  
 懇親会会場は、つくばセンターのバスターミナルに隣接しています。研究発表会会場からの歩行者専用道路が、ホテルの2階に通じています。

- 9) 施設見学会：10月24日(金)13:00-17:20  
 (1)参加費：2,000円(当日会場にてお支払い下さい。)  
 (2)申込方法：研究発表会初日より先着順に受付いたします。研究発表会参加証を見学会受付にご提示下さい。  
 (3)定員：50名(予定)  
 (4)コース：

時間	内容
13:00	つくば国際会議場発
13:10	(独)国立環境研究所 循環・廃棄物研究棟、環境ホルモン総合研究棟、地球温暖化研究棟
15:00	(独)産業技術総合研究所(つくば西地区) 環境調和技術研究部門、化学物質リスク管理研究センター等
17:20	ひたち野うしく駅にて解散

- 10) 弁当販売：10月22日、23日 11:30-13:30  
 1階に昼食会場(大会議室101及び102)をご用意します。昼食会場前にて食券を一定数販売する予定ですので、ご利用ください。  
 価格 1,200円(予定)

第14回廃棄物学会研究発表会タイムスケジュール

	第1会場 中ホール 300 3F (230人)	第2会場 中ホール 200 2F (200人)	第3会場 中会議室 201 2F (200人)	第4会場 中会議室 406 4F (168人)	第5会場 小会議室 405 4F (120人)	第6会場 中会議室 202A 2F (110人)	第7会場 中会議室 202B 2F (110人)	第8会場 小会議室 303 3F (100人)	第9会場 (昼食会場) 大会議室101 1F (231人)	第10会場 大会議室102 1F (231人)
10月22日(水)	受付 9:00-									
	10:00-12:00 C4 ダイオキシン 脱塩素・分解	10:00-12:00 A6 廃棄物管理 ・計画	10:00-11:45 E5 有害廃棄物 処理	10:00-12:00 D4 埋立地安定化 (1)	10:00-12:00 B9 焼却灰資源化 (2)	10:00-11:45 B4 コンポスト	10:00-11:45 A4 LCA・ リサイクル システム評価			
	13:00-14:45 C3 排ガス処理	13:00-14:45 A3 住民意識	13:00-14:45 E3 土壌・ 地下水汚染	13:00-14:45 D6 埋立地 モニタリング	13:00-14:45 B8 焼却灰資源化 (1)	13:00-14:45 B3 メタン発酵	13:00-14:30 A1 ごみ発生 ・性状	13:00-15:30 日韓 シンポジウム	11:30-13:30 昼食会場	
	15:00-17:00 C5 ダイオキシン 生成・排出 ・分析	15:00-17:00 A7 処理施設計画	15:00-16:30 E4 有害性試験	15:00-17:00 D5 埋立地安定化 (2)	15:00-16:45 B10 熔融スラグ 資源化	15:00-16:30 B2 生ごみ処理	15:00-16:45 B5 プラスチックの 資源化			
16:00-17:30 国際セッションポスター発表:多目的ホール										
17:00-18:30 ポスター発表(第1グループ:プログラム中にP1と表記):多目的ホール										
18:30-20:30 小集会 廃棄物焼却 ・埋立処分 研究部会		18:30-20:30 小集会 有害廃棄物 研究部会			18:30-20:30 小集会 バイオマス系 廃棄物 研究部会	18:30-20:30 小集会 試験検査法 研究部会				
10月23日(木)	9:15-11:00 C6 ガス化熔融 (1)	9:15-10:45 E2 ダイオキシン 微生物分解	9:15-11:00 C8 焼却灰性状 ・熔融	9:15-11:00 D2 埋立地しゃ水 (1)	9:15-11:00 A2 フロー解析/ 産業連関分析	9:15-11:00 B7 廃ガラス・ 建築廃棄物 の資源化	9:15-11:00 B11 その他有機系 廃棄物の 資源化			
	11:00-12:30 ポスター発表(第2グループ:プログラム中にP2と表記):多目的ホール								11:30-13:30 昼食会場	
	12:20-13:40 若手の会:第3会場(中会議室201)									
	13:50-15:00 特別講演 映画監督 四ノ宮浩氏 「フィリピンのゴミ捨て場と子供たちから学んだもの ～『神の子たち』『忘れられた子供たち/スカベンジャー』を撮影して～」:大ホール									
15:15-15:45 論文賞 ・ 著作賞	15:15-15:45 平成14年度廃棄物学会賞 受賞者記念講演 奨励賞									
16:00-17:45 C7 ガス化熔融 (2)	16:00-17:45 C2 焼却技術 (2)		16:00-18:00 小集会 社会経済 研究部会	16:00-18:00 小集会 廃棄物計画 研究部会	16:00-18:00 小集会 リサイクル システム技術 研究部会	16:00-18:00 小集会 行政研究部会	16:00-17:45 D3 埋立地しゃ水 (2)	16:00-17:30 D1 埋立地浸出水		
18:20-20:20 懇親会:オークラフロンティアホテルつくば(アネックス1F・昇の間)										
10月24日(金)	9:30-11:30 C1 焼却技術 (1)	9:30-11:30 C9 焼却灰安定化	9:30-11:15 D7 化学物質挙動 ・バイオ モニタリング	9:30-11:15 B1 汚泥等の処理	9:30-11:15 B6 RDF ・炭化処理	9:30-11:00 A5 容器包装・ 自動車等の リサイクル		9:30-11:15 A8 リスク評価 ・リスク管理	9:30-11:00 E1 PCB処理	
	13:00- 施設見学会									

市民展示:10月22日(水)午後～10月24日(金)午前 1階エントランスホール(一部)、2階市民展示コーナーなど(予定)

# 第14回研究発表会セッションプログラム

(講演番号の前のPはポスター発表<P1: 1日目発表、P2: 2日目発表、P: 国際セッション発表>、その他は口頭発表)  
(各セッション座長1人制)

## 廃棄物学会賞受賞者記念講演(論文賞・著作賞) 【10月23日(木) 第1会場 15:15-15:45】

- 『平成14年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演「廃棄物起因の土壌・地下水汚染現場への数値シミュレーションと比抵抗法の適用」  
北海道大学 石井一英
- 『平成14年度廃棄物学会著作賞』受賞者講演「循環型社会構築への戦略」  
岡山大学 田中 勝

## 廃棄物学会賞受賞者記念講演(奨励賞) 【10月23日(木) 第2会場 15:15-15:45】

- 『平成14年度廃棄物学会奨励賞』受賞者講演「埋立地メタン-温室効果ガスまたは安定化指標として」  
(独)国立環境研究所 山田正人
- 『平成14年度廃棄物学会奨励賞』受賞者講演「都市ごみの燃焼に伴う金属と塩素の挙動」  
京都大学 渡辺信久

## A1 ごみ発生・性状 【10月22日(水) 第7会場 13:00-14:30】

- A 1-1 富山県におけるごみ減量化施策による減量化、再資源化の経年変化特性  
富山県立大学 天野智順 (株)藤井組 林 泰志
- A 1-2 飲食店等から排出される食品系廃棄物の実態について  
(独)国立環境研究所 井上雄三、大河内由美子 (株)日水コン 町田直美
- A 1-3 鳥取県下市町村に見る廃棄物施策のごみ排出への影響について  
鳥取大学 増田貴則、細井由彦、河野嘉範
- A 1-4 屋久島の観光産業に関する物質フローに基づいた環境両立型の観光形態提案  
豊橋技術科学大学 藤江幸一、後藤尚弘、藤本阿可理
- P 2 A 1-5 全市実施時のプラスチック製容器包装分別収集の実態  
(株)地域計画建築研究所 福岡雅子、小泉春洋、長沢弘樹
- P 1 A 1-6 耐久消費財の使用年数分布の調査方法と家電製品・パソコンの保有属性別使用年数  
(独)国立環境研究所 田崎智宏、寺園 淳、森口祐一
- A 1-7 建築解体廃棄物中の廃プラスチックの実態調査  
(社)プラスチック処理促進協会 加納芳明 (株)循環社会研究所 澤石直史 (独)建築研究所 槌本敬大
- P 2 A 1-8 粗大ごみ処理施設における物質収支・金属の推定  
北海道大学 鄭 昌煥、筑紫康男、松藤敏彦
- A 1-9 家庭系不燃ごみに付着した有機物量と浸出水有機汚濁に対する寄与  
宮崎大学 関戸知雄、土手 裕、小田村匠

## A2 フロー解析/産業連関分析 【10月23日(木) 第5会場 9:15-11:00】

- A 2-1 京都府中丹地域における有機資源のマテリアル・バランスと再資源化の方向性  
京都大学 北野慎一、宋 彙榮
- P 1 A 2-2 地域マテリアルフロー視覚化のためのOPM(Out-flow Potential Map)の構築  
和歌山大学 坂本辰徳、谷川寛樹
- P 2 A 2-3 静脈物流に資する建設資材の流通実態調査  
(独)国立環境研究所 山田正人、石垣智基 (株)富士総合研究所 玉井伸明
- A 2-4 中国におけるリサイクル可能廃棄物の資源循環の実態  
東京大学 吉田 綾、國島正彦、小澤一雅
- A 2-5 廃棄物産業連関線形計画モデルの応用:シナリオの系統的作成  
早稲田大学 近藤康之、中村慎一郎
- P 1 A 2-6 消費と廃棄物の環境家計簿:廃棄物産業連関表の応用  
早稲田大学 高瀬浩二、鷺津明由
- A 2-7 自動車リサイクル産業連関表(ARIOT)の試作  
中央大学 布施正暁、鹿島 茂
- A 2-8 再資源化原材料の使用が最終処分場消費に与える動学的影響予測  
早稲田大学 横山一代
- A 2-9 サブスタンスフローアナリシスによる鉛の蓄積と自然環境への排出特性の把握  
(独)国立環境研究所 井上雄三 (株)富士総合研究所 久保利晃、本田和英

- P 2 A 2-10 都市ごみ処理における金属フローの推定  
北海道大学 松藤敏彦、鄭 昌煥、田中信壽
- A 2-11 ポリ臭化ジフェニルエーテルのサブスタンスフロー解析と底質濃度の実測・予測比較  
(独)国立環境研究所 平井康宏、酒井伸一 茨木市 谷 治毅
- A 3 住民意識 【 10月22日(水) 第2会場 13:00-14:45 】
- A 3-1 バイオマス発電および副産物堆肥の農地還元にかんする住民意識調査  
九州芸術工科大学 近藤加代子、谷 正和 福岡教育大学 藤本 登
- P 1 A 3-2 生ごみバイオガス化技術導入の住民意識を踏まえたシステム化の検討  
北海道大学 齊藤由起、古市 徹、谷川 昇
- P 2 A 3-3 ペットボトル容器の処理方法についての一考察  
金城学院大学 服部富久美、成瀬正春
- A 3-4 ペットボトルごみの排出形態に関する要因分析  
立命館大学 天野耕二、村田康行 T I S(株) 横井芙未子
- A 3-5 リサイクルペットボトルに対する消費者評価  
関西大学 岩本綾乃、尾崎 平、和田安彦
- P 1 A 3-6 ディスポーザーの利便性と便益に関する一考察  
(財)日本環境整備教育センター 楊 新泌、仁木圭三、大森英昭
- A 3-7 久留米市最終処分場問題に対する住民意見とごみ減量行動・志向との関係  
九州芸術工科大学 谷 正和、近藤加代子
- A 3-8 ごみ分別に関する行政施策の市民参加率に対する影響の予測  
(独)国立環境研究所 松井康弘、大迫政浩 岡山大学 田中 勝
- P 2 A 3-9 モノ配慮社会実現における合意形成  
東京大学 横山道子 東京都文京区 曳地由紀雄 モノ対策会議 服部眞一
- A 3-10 リサイクル工作が子どもの環境意識と環境配慮行動に与える影響  
(株)ジョー・コーポレーション 石川浩代 京都府立大学 山川 肇
- A 3-11 環境意識の特には高くない通常の事務系オフィスに対し、環境配慮行動を促した時の行動変容  
広島大学 金 載分、井山慶信、早瀬光司
- A 4 LCA/リサイクルシステム評価 【 10月22日(水) 第7会場 10:00-11:45 】
- P 1 A 4-1 ホテルにおけるライフスタイル変更による環境負荷低減  
京都大学 岩淵善美、村上裕子、笠原三紀夫
- A 4-2 廃プラスチックリサイクルのLCA ~コークス炉化学原料化と高炉還元の場合~  
(独)国立環境研究所 稲葉陸太、橋本征二、森口祐一
- P 2 A 4-3 シート状塩ビのリサイクル方法によるCO<sub>2</sub>排出量の差異  
(独)産業技術総合研究所 大矢仁史、遠藤茂寿 出光テクノファイン(株) 大山 茂
- P 1 A 4-4 家電リサイクル事業の環境負荷・コスト分析および産業構造評価  
(独)国立環境研究所 山田正人、川畑隆常 (株)富士総合研究所 齊藤 聡
- A 4-5 廃棄物ライフサイクルアセスメント(WLCA)による処理方式の評価  
岡山大学 西村文香、田中 勝
- A 4-6 LCA による廃棄物処理における広域的収集体系の評価  
早稲田大学 永田勝也 新日本製鐵(株) 長田守弘 早稲田大学 関合治朗
- P 2 A 4-7 廃棄物資源有効利用技術のLCA 評価  
早稲田大学 永田勝也 新日本製鐵(株) 長田守弘 早稲田大学 大橋功典
- A 4-8 易解体性を考慮した設計手法の検討 ~統合的分解性評価指数の提案~  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、佐藤広治
- A 4-9 環境負荷評価による汎用産業機器の環境配慮型生産・運用技術の有効性の検討  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、小野田弘士
- P 1 A 4-10 特殊 IC タグを活用した汎用ポンプの環境配慮型生産・運用技術の開発  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、秦 健宏
- P 2 A 4-11 環境配慮型汎用ポンプの開発  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、新見 大
- A 4-12 易解体性を考慮した設計手法の検討 - オフィス家具の解体解析とそれに基づく易解体設計の提案 -  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、深津祐介
- A 4-13 拡大生産者責任の概念とリース・レンタルの適用可能性  
東洋大学 信澤由之
- P 1 A 4-14 循環型社会における廃棄物再資源化施設の役割について  
日本大学 橋本 治、三橋博巳



- P 2 A 4-15 携帯電話用プリント基板の衝撃粉碎と磨砕による単体分離と金属回収  
(独)産業技術総合研究所 鈴木繁幸、大矢仁史、遠藤茂寿
- A 5 容器包装・自動車等のリサイクル 【10月24日(金) 第6会場 9:30-11:00】
- A 5-1 使用済み自動車のリサイクル・処理に係る実態フローの調査  
(株)リサイクルワン 本田大作 (独)国立環境研究所 田崎智宏、寺園 淳
- P 1 A 5-2 自動車の長寿命化を指向した使用体系に関する研究 - 使用済み自動車の解体性および環境負荷の評価 -  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、小菅晋作
- P 2 A 5-3 シュレッダー・ダスト削減に向けての自動車部品中古市場の確立に関する研究  
福岡大学 江口泰太、市川 新、山本俊浩
- A 5-4 ASR 中の重金属の除去  
広島大学 黒瀬啓介、西嶋 涉、岡田光正
- P 1 A 5-5 自動車廃触媒からのパラジウムの回収  
宮崎大学 貝掛勝也、大栄 薫、馬場由成
- A 5-6 熱分解ガス化改質システムによるカーシュレッダーダストリサイクルのフィールドテスト  
(株)東芝 野間 毅、中島 良、雨宮 隆
- A 5-7 農業機械・資材の廃棄物処理に関するアンケート調査  
(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 藤井幸人、大西正洋、津賀幸之助
- A 5-8 自治体におけるプラスチック製容器包装材のリサイクル状況  
(社)プラスチック処理促進協会 橋本純一、山本圭作 新第一塩ビ(株) 野田善彦
- A 5-9 プラスチック製容器包装リサイクルの影響 - 仙台市を事例に -  
東北大学 劉 庭秀、重野芳人、岩崎玲子
- A 6 廃棄物管理・計画 【10月22日(水) 第2会場 10:00-12:00】
- P 2 A 6-1 ごみ排出・資源回収量に対する自治体特性・分別対策の影響評価  
広島大学 中野善廣、早瀬光司
- P 1 A 6-2 名古屋市廃棄物減量化政策に関する政策評価  
名古屋大学 柳下正治、岡山朋子 国土環境(株) 井上彩子
- A 6-3 「市民がつくる」ごみ処理基本計画をどう実現したか - 3市町の先進事例報告 -  
(NPO) 中部リサイクル運動市民の会 庄司知教、萩原喜之 名古屋大学 広瀬幸雄
- A 6-4 市民参加型廃棄物計画のための Analytica を用いた計画策定支援手法の提案  
北海道大学 堀井一嗣、古市 徹、高橋富男
- A 6-5 交通量を考慮に入れた廃棄物処理広域化の規模に関する研究  
京都大学 佐々木努、藤原健史、松岡 譲
- A 6-6 産業廃棄物との合せ処理を考慮した廃棄物広域処理の検討  
和歌山大学 松本 暁、金子泰純
- P 2 A 6-7 建設廃棄物に関する電子マニフェスト及びGPSによる管理システムの提案  
福岡大学 市川 新、福本茂朗、谷口健太郎
- P 1 A 6-8 循環型社会の同床異夢：循環型社会像の違いについて  
(独)国立環境研究所 橋本征二、森口祐一、田崎智宏
- A 6-9 ゼロ・エミッションネットワーク形成支援ソフトウェアを用いた事業所間の物質循環系構築の可能性に関する評価  
- 宮城県の事例 -  
東北大学 大村道明、秦 燕春、重野芳人
- A 6-10 「産業廃棄物処理業界のISO14001導入によるパフォーマンス効果」  
京都大学 山本芳華、植田和弘、高月 紘
- A 6-11 ごみ処理有料化実施後の行動変化  
関西大学 大島裕行、尾崎 平、和田安彦
- P 2 A 6-12 ごみ料金収入原単位を配慮した家庭系ごみ有料化効果に関する一考察  
千葉市 神崎広史 (株)環境技研コンサルタント 西川光善、石田佳子
- A 6-13 地域環境通貨(LEMS)の公共政策における可能性に関する研究  
早稲田大学 寄本勝美、吉田賢一、永井祐二
- P 1 A 6-14 地域環境通貨(LEMS)を用いた環境情報の把握に関する研究  
早稲田大学 寄本勝美、吉田賢一、永井祐二
- A 7 処理施設計画 【10月22日(水) 第2会場 15:00-17:00】
- A 7-1 水質分析費用から考察した一般廃棄物最終処分場の管理について  
千葉県環境研究センター 伊藤康子、香村一夫、原 雄

- A 7-2 環境評価手法と住民審議会の併用による廃棄物処理施設設置の合意形成に関する研究  
岩手大学 笹尾俊明 高崎経済大学 柘植隆宏
- P 2 A 7-3 最終処分場を巡る紛争回避に関する研究  
福岡大学 古庄香哉、築山友美、木崎 稔
- A 7-4 産業廃棄物最終処分場が立地する市区町村の地域特性  
東京工業大学 秋山 貴、原科幸彦 (独)国立環境研究所 大迫政浩
- A 7-5 ごみ焼却施設の建設地選定の一提案  
日本技術開発㈱ 江藤秀二、高橋富男、大脇 寧
- P 1 A 7-6 都市セルオートマトン技法を用いた廃棄物処理施設立地に関する研究  
静岡県立大学 伊沢孝紀、仁田義孝、横田 勇
- P 2 A 7-7 建設廃棄物の排出量と処理能力の地理的分布におけるアンバランスさの解析  
(独)国立環境研究所 川畑隆常、山田正人 (財)日本環境衛生センター 立尾浩一
- A 7-8 家電リサイクルを対象とした施設配置・輸送計画の最適化に関する一考察  
東京都立大学 荒井康裕、前田雅史、小泉 明
- A 7-9 投案件数に着目した不法投棄ゾーニング手法の開発と評価  
(独)国立環境研究所 田崎智宏、松井康弘、大迫政浩
- A 7-10 廃棄物の反射スペクトル特性に基づく不法投棄検知手法の検討  
九州大学 中山裕文、島岡隆行 (独)国立環境研究所 田村正行
- A 7-11 ごみ処理事業における民間活力の導入に関する考察  
日本技術開発㈱ 肥田野秀晃、龍 吉生、高橋富男

A 8 リスク評価・リスク管理 【 10月24日(金) 第9会場 9:30-11:15 】

- A 8-1 資源化・破砕処理における防災について - 破砕ごみの湿潤化による着火抑制効果 -  
(財)東京都環境整備公社 橋本 治、山寺昭夫、藤代信男
- A 8-2 家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討  
東京都環境科学研究所 四阿秀雄 東京都 及川 智
- P 1 A 8-3 デンマーク工科大学における実験廃液、廃棄物の処理について  
京都大学 水谷 聡、渡辺信久、高月 紘
- P 2 A 8-4 ごみ焼却炉におけるプラスチック類焼却と環境対策費用 - 全国ごみ焼却施設へのアンケート調査結果 -  
東京都環境科学研究所 四阿秀雄 東京都 及川 智 東京都環境科学研究所 高橋昌史
- P 1 A 8-5 公表ダイオキシン情報に関する調査  
東海大学 井上義雄
- A 8-6 廃棄物焼却施設の解体工事におけるダイオキシン類等の汚染防止対策について(全体編)  
横浜市 高橋俊和、江口正隆、岩田 章
- P 2 A 8-7 廃棄物焼却施設の解体工事におけるダイオキシン類等の汚染防止対策について(モニタリング編)  
横浜市 悪七由美子、長樂謙一郎、高橋俊和
- A 8-8 ごみ焼却に伴うダイオキシン類リスクの経済的評価に関する研究  
岡山大学 水谷まゆみ、吉澤佐江子、田中 勝
- A 8-9 廃棄物処理過程における火災事故のリスク評価とそれらを想定した着火抑制の研究  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、田中 圭
- A 8-10 PCB 廃棄物処理事業におけるリスク・コミュニケーション - 北九州市を事例に -  
九州大学 野見山里恵、外川健一
- A 8-11 循環・廃棄物分野における化学物質プライオリティリストの作成 - その2  
(独)国立環境研究所 井上雄三 (株)富士総合研究所 本田和英、久保利晃

B 1 汚泥等の処理 【 10月24日(金) 第4会場 9:30-11:15 】

- B 1-1 下水汚泥からのリン回収技術の開発  
三菱電機㈱ 安永 望、中津川直樹、廣辻淳二
- B 1-2 有機汚泥からの高機能有機質肥料の生成技術開発とその農業利用  
島根大学 松岡かおり、若月利之 栗田工業㈱ 松井謙介
- B 1-3 有機性資源の炭化による新資材化技術の開発(第3報)  
(株)東芝 安村恵二郎、居安巨太郎 (独)農業工学研究所 凌 祥之
- B 1-4 畜産糞尿メタン発酵廃液処理のパイロットプラント実証試験  
(株)富士電機総合研究所 清水康次、小松 正 富士電機㈱ 平野一澄
- B 1-5 ディスポーザー汚泥のメタン発酵における発酵温度の影響  
アタカ工業㈱ 芝田賢二、奥野芳男 東北大学 李 玉友
- B 1-6 アオサの微生物的分解処理システムの開発  
佐賀大学 伊地知武郎 (有)玄甫興業 石橋洋佑 佐賀大学 染谷 孝

- B 1-7 触媒を用いた超臨界水ガス化法の性能および経済性の検討  
(社)日本ガス協会 松本信行 大阪ガス(株) 田所克章 (株)神戸製鋼所 長瀬佳之
- B 2 生ごみ処理 【 10月22日(水) 第6会場 15:00-16:30 】
- B 2-1 生ごみ減量を目的とした天日干しの効果  
東京農工大学 西園寺美希子
- B 2-2 簡易型生ゴミ処理システムの試作と性能評価  
静岡大学 松田 智、杉田敬一、 天方将貴
- B 2-3 生ごみ処理機の副資材使用量低減に関する検討  
筑波大学 上嶋大輔、木村俊範 松下電工(株) 井原 望
- B 2-4 家庭用生ゴミ処理機稼働中の菌叢変化の追跡  
筑波大学 原野道生 松下電工(株) 井原 望 筑波大学 木村俊範
- P 1 B 2-5 生ごみの長期無引抜連続処理の検討  
(独)国立環境研究所 井上雄三、大河内由美子 (株)コシダテック 鹿子田千津
- B 2-6 魚腸骨リサイクルにおける微生物工学的カドミウム除去技術の開発  
(株)竹中工務店 水谷敦司 室蘭工業大学 菊池慎太郎 丸市東洋興業(株) 成田 均
- B 2-7 ディスポーザ排水処理システムの適合評価について  
(財)関西環境管理技術センター 村下淳子、木村早苗 大阪人間科学大学 福永 勲
- B 3 メタン発酵 【 10月22日(水) 第6会場 13:00-14:45 】
- B 3-1 高温メタン発酵による食品廃棄物のバイオガス化  
三重県科学技術振興センター 男成妥夫、吉岡 理 井村屋製菓(株) 堀川勉良
- P 2 B 3-2 横須賀市における生ごみの資源化に関する研究  
横須賀市 浅野 悟住友重機械工業(株) 梁瀬克介、 三井昌文
- B 3-3 畜産ふん尿・食品残さのバイオガス発電プラントの運転実績と考察  
(株)大林組 小川幸正、 加藤 顕 京都府八木町 中川悦光
- B 3-4 中温乾式メタン発酵における汚泥の馴養  
北海道大学 石井洋志、松田従三 栗田工業(株) 三崎岳郎
- B 3-5 高温メタン発酵システム実験プラントの運転  
(株)富士電機総合研究所 中川 匡、横山尚伸 富士電機(株) 平野一澄
- B 3-6 光メタン発酵法によるタンパク質系有機物の嫌気性消化  
(独)産業技術総合研究所 多田千佳、澤山茂樹
- P 1 B 3-7 リン酸水素マグネシウムによるアンモニア除去  
(独)国立環境研究所 西村和之、大河内由美子、井上雄三
- B 3-8 有機性廃棄物の高温メタン発酵における菌の固定化効果  
(株)富士電機総合研究所 富内芳昌、小松 正 富士電機(株) 平野一澄
- P 2 B 3-9 有機性廃棄物メタン発酵における菌の増殖速度と発酵槽の起動  
(株)富士電機総合研究所 人見美也子、小松 正 富士電機(株) 平野一澄
- B 3-10 有機性廃棄物の水素・メタン二段発酵のための嫌气的可溶性プロセスの研究  
(株)荏原製作所 片岡直明、長屋由亀、宮 晶子
- B 4 コンポスト 【 10月22日(水) 第6会場 10:00-11:45 】
- B 4-1 有機汚泥の焙煎処理による腐植化促進と高品質肥料化(第1報)  
栗田工業(株) 松井謙介 島根大学 若月利之、松岡かおり
- B 4-2 寒冷地におけるコンポスト化の運転経過と作業環境  
日本ヘルス工業(株) 山口和男、 尾崎靖忠、 櫻木周一
- B 4-3 コンポスト化における臭気を用いた腐熟度評価に関する研究  
山口大学 今井 剛、 熊本勝史、 樋口隆哉
- B 4-4 実用規模コンポスト化装置における有機物分解過程と腐熟度の関係  
静岡大学 中崎清彦、長崎一基
- B 4-5 コンポスト化反応のシミュレーションでの微生物量の扱い  
山梨大学 金子栄廣、 福田健二
- B 4-6 リンゴ搾り粕の堆肥化における窒素含有副資材添加の効果  
弘前大学 青山正和、片山沙織
- B 4-7 広島県における家畜ふん尿の発生構造とコンポストとしての受入容量地域バランス  
広島工業大学 今岡 務 (独)国立環境研究所 大河内由美子、井上雄三

B 5 プラスチックの資源化 【 10月22日(水) 第7会場 15:00-16:45 】

- B 5-1 発泡ポリスチレン(EPS)製容器の新方式マテリアルリサイクルシステムの開発  
山形大学 永田武史、今泉光博、小山清人
- P 1 B 5-2 廃プラスチックボトルの再生ボトル化技術開発 - 熱履歴による性状変化 -  
九州工業大学 柿本幸司 麻生鉦山(株) 谷村典孝 (株)麻生 吉瀬 寛
- P 2 B 5-3 常圧溶解法による FRP リサイクル技術の実用化開発  
日立化成工業(株) 柴田勝司、前川一誠、北嶋正人
- P 1 B 5-4 廃磁気テープを原料とした活性炭作製条件の検討  
東京都立科学技術大学 志摩孝俊、伊藤紀子 東京都立産業技術研究所 野々村誠
- B 5-5 製鋼用電炉における廃プラスチック・廃鉄粉の有効利用  
豊橋技術科学大学 亀嶋 保、成瀬一郎 大同特殊鋼(株) 大森浩志
- B 5-6 廃プラスチックの接触分解による石油化学原料化プロセスの開発(第2報)  
石川島播磨重工業(株) 藤吉裕信、伊東正皓、西野順也
- B 5-7 一般廃プラスチック分解油の脱塩素精製プロセスの開発  
岡山大学 阪田祐作 日陽エンジニアリング(株) 鈴木 要 川鉄マシナリー(株) 松隈 隆
- B 5-8 マイクロ波照射による塩化ビニルの脱塩化水素の研究  
千葉大学 森脇三郎、立本英機、町田 基
- B 5-9 コンポスト化過程における生分解性プラスチックの分解と分解菌の役割  
静岡大学 中崎清彦、長崎一基、酒井孝幸
- B 5-10 ポリエチレン - 澱粉系生分解性樹脂の生分解性評価  
日立化成フィルテック(株) 太田伸一、藪下 諭、宮田裕幸
- P 2 B 5-11 リサイクルと環境汚染に関する調査研究 ) - 杉並病を事例にした環境汚染に関する一考察 -  
東京都杉並区議会議員 渡嘉敷奈緒美 環境計画センター 鍵谷 淳、鍵谷 司

B 6 RDF/炭化処理 【 10月24日(金) 第5会場 9:30-11:15 】

- B 6-1 クラフト古紙を原料とする活性炭の製造条件と吸着性能  
東京農工大学 鈴木宏昌、岡山隆之 東京都立産業技術研究所 島田勝広
- B 6-2 無機・有機系固体産業廃棄物から作製した多孔性材料によるフタル酸エステル類の吸着  
名古屋大学 福田英俊、笹井 亮、伊藤秀章
- B 6-3 下水汚泥活性炭化物を用いた洗煙排水の処理に関する研究  
川崎重工業(株) 菅田雅裕、楠田浩雅、尾崎弘憲
- P 1 B 6-4 異なる都市ごみ成分の炭化処理特性と炭化物性状に関する研究  
八千代エンジニアリング(株) 店網弘治 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- B 6-5 農業集落排水汚泥処理を対象とした炭化技術の環境影響評価事例  
(独)農業工学研究所 東理 裕、凌 祥之 (独)産業技術総合研究所 田原聖隆
- B 6-6 汚泥材料炭化物の化学肥料代替機能の解明  
(独)農業工学研究所 凌 祥之、中川陽子、東理 裕
- P 2 B 6-7 木炭の変異原性に及ぼす炭化温度の影響  
(独)国立環境研究所 中島大介、後藤純雄、酒井伸一
- P 1 B 6-8 メタン発酵残渣の有効利用  
関西大学 小田廣和、田中宏佳 (株)ベンチャー・リンク 猪爪裕和
- B 6-9 ごみ固形燃料の有用性と環境保全に関する調査研究( ) - RDF 施設の維持管理費について -  
湖東広域衛生管理組合 広瀬光夫、木下茂樹 環境計画センター 鍵谷 司
- B 6-10 RDF 製造設備(大牟田・荒尾 RDF センター)の運転報告  
川崎重工業(株) 鈴木宏和、宇治貞宏、岩本正人

B 7 廃ガラス・建築廃棄物の資源化 【 10月23日(木) 第6会場 9:15-11:00 】

- B 7-1 高リサイクル性を有する森林資源の開発 - ユーカリ E.globulus の選抜と自動選抜装置を開発 -  
九州大学 小名俊博 北海道大学 小島康夫 東京農工大学 岡山隆之
- B 7-2 再生紙スラッジを原料にした機能性建築資材の開発  
宮崎県工業技術センター 高橋克嘉、福地哲郎、山内博利
- P 2 B 7-3 北海道における廃木材中の表面処理用木材保存剤の分析  
北海道立林産試験場 東 智則、山崎亨史 京都大学 浅利美鈴
- P 1 B 7-4 北海道における建設廃木材の処理・再資源化状況に関する調査  
北海道立林産試験場 高山光子、石河周平、清野新一
- B 7-5 市販廃枕木に含まれる残留性有機汚染物質及びそのリスク  
京都大学 浅利美鈴、高月 紘 (独)国立環境研究所 酒井伸一

- P 2 B 7-6 廃木材を用いた建築部材(パーティクルボード)製造プロセスにおける LCA 及びリスク評価  
京都大学 浅利美鈴、高月 紘 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- P 1 B 7-7 実態調査に基づく建物解体廃棄物の処理に関する評価の試み  
東京理科大学 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 井上 隆
- B 7-8 廃コンクリート及び鋳物廃砂の再資源化に関する研究  
三重県科学技術振興センター 吉村英基、加藤 進、高橋正昭
- B 7-9 建設混合廃棄物処理の実態調査  
鹿島技術研究所 間宮 尚 高俊興業(株) 高橋俊美 物産環境(株) 安川 正
- B 7-10 破碎選別施設から排出される残土中有機物の削減(第2報)  
埼玉県環境科学国際センター 渡辺洋一、倉田泰人 東京農工大学 細見正明
- B 7-11 廃液晶ガラスの製鋼スラグ改質剤としての利用  
新日本製鐵(株) 真沢正人、茨城哲治 (株)日立ディスプレイズ 池田 操
- P 2 B 7-12 光照射と加熱によるガラス着脱色技術のリサイクル効果の評価  
(株)富士総合研究所 久保利晃、藤井 崇 (独)産業技術総合研究所 角野広平

B 8 焼却灰資源化(1) 【10月22日(水) 第5会場 13:00-14:45】

- B 8-1 製紙スラッジ(PS)焼却灰の化学的・鉱物学的安定性の評価  
静岡県富士工業技術センター 安藤生大、日吉公男 愛媛大学 逸見彰男
- B 8-2 下水汚泥焼却灰からリン肥料製品化の検討  
三機工業(株) 小松貴司、岩井良博 東京農業大学 後藤逸男
- B 8-3 石炭灰の未燃分分離技術に関する研究  
川崎重工業(株) 政本 学、柴田泰典、木下哲宏
- B 8-4 溶媒抽出法による溶融飛灰からの亜鉛および鉛の回収  
J F E エンジニアリング(株) 河合利幸 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- B 8-5 溶融飛灰からの重金属回収の前処理としての炭酸化効果  
宮崎大学 池上 満、土手 裕、関戸知雄
- B 8-6 焼却炉実排ガスを用いた炭酸化処理による焼却灰中重金属類の不溶化  
九州大学 島岡隆行 Hitz 日立造船(株) 田中朝都 (株)タクマ 西垣正秀
- B 8-7 RDF 焼却灰等の水和反応による鉛溶出抑制機構について  
福岡県保健環境研究所 鳥羽峰樹、土田大輔、高橋浩司
- P 2 B 8-8 精錬スラグの焼却飛灰骨材副原料としての利用  
住友金属鉱山(株) 川本孝次、友田勝博、松野基次

B 9 焼却灰資源化(2) 【10月22日(水) 第5会場 10:00-12:00】

- B 9-1 イジェクター式洗浄装置による廃棄物洗浄  
(株)クボタ 広瀬洋一郎 福岡大学 樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- B 9-2 都市ごみ溶融飛灰の水洗処理による金属濃縮に関する研究  
北海道大学 津山陽祐、東條安匡、田中信壽
- P 1 B 9-3 石灰と下水汚泥を用いた高活性生石灰の製造方法と用途  
北海道美幌町 石坂 聡 中外炉工業(株) 曾田光洋、宮崎正和
- P 2 B 9-4 石炭灰水和固化体の路盤材への利用に関する試験施工による評価  
(財)石炭利用総合センター 原 一夫 川崎重工業(株) 福本康二、柴田泰典
- B 9-5 微粉炭焚ボイラ石炭灰を原料とした固化砕石の製造システム  
(財)石炭利用総合センター 原 一夫 川崎重工業(株) 近藤 篤、柴田泰典
- B 9-6 廃プラスチックを用いた飛灰の固化と山元還元  
(株)新資源 平井幹男 東京都環境科学研究所 四阿秀雄 成蹊大学 小島紀徳
- B 9-7 焼却飛灰焼成体のコンクリート骨材への応用  
住友金属鉱山(株) 坂本雄三 福岡県リサイクル総合研究センター 徳永隆司、石橋哲也
- B 9-8 産業廃棄物を原料とする人工ゼオライトの建築への利用に関する研究  
日本工業大学 貫井光男 (株)シンデレライト 坂上越朗 (株)トーヨーアサノ 西堀英治
- B 9-9 既埋立焼却残渣の塩分特性に着目したセメント資源化技術  
九州大学 島岡隆行 麻生セメント(株) 阿邊浩市、正寶敏貴
- B 9-10 ミミズを利用した石炭灰と有機廃棄物処理の試み  
北海道大学 鈴木貴洋、藤原充志、春木雅寛

B 1 0 溶融スラグ資源化 【 10月22日(水) 第5会場 15:00-16:45 】

- P 1 B 10-1 溶融施設の稼働状況と溶融スラグの有効利用状況調査  
(独)国立環境研究所 大迫政浩、酒井伸一 (財)廃棄物研究財団 若松秀樹
- B 10-2 溶融スラグの凍上抑制層材料としての有効利用について  
三井造船(株) 山本 誠、小室 透、板谷真積
- B 10-3 溶融スラグによる重金属イオンの除去について(第5報)  
栃木県保健環境センター 藤田幸生 栃木県窯業指導所 見目誠造 九州大学 島岡隆行
- B 10-4 細骨材への利用を目的とした都市ごみ溶融スラグの不活性化  
(独)産業技術総合研究所 鈴木憲司、服部真由美 名古屋工業大学 高田聡恵
- B 10-5 石炭ガス化溶融スラグの建設材料への適用に関する実験的検討  
宮城県農業短期大学 北辻正文 (株)クリーンコールパワー研究所 大西博康 前田道路(株) 鈴木慎二郎
- B 10-6 各種粉体系廃棄物の溶融パウダー化とコンクリート材料への適用  
(株)間組 佐々木肇 中外炉工業(株) 臼田淳一
- B 10-7 カラム試験による溶融スラグの土木利用時の土壌・地下水系への影響評価  
(独)国立環境研究所 貴田晶子、大迫政浩、酒井伸一
- P 2 B 10-8 都市ごみ溶融スラグを用いたアスファルトの試験舗装について(第2報)  
(株)大林組 日笠山徹巳、黒岩正夫 大林道路(株) 光谷修平
- B 10-9 ごみ焼却灰溶融スラグを用いたコンクリートのポンプ圧送実験  
(株)内山アドバンス 斉藤丈士 川崎重工業(株) 佐藤宏紀 ものづくり大学 中田善久
- P 1 B 10-10 ごみ焼却灰溶融スラグを細骨材に用いたコンクリートの実大施工実験  
川崎重工業(株) 佐藤宏紀 (株)内山アドバンス 斉藤丈士 ものづくり大学 中田善久

B 1 1 その他有機系廃棄物の資源化 【 10月23日(木) 第7会場 9:15-11:00 】

- B 11-1 タケののこ屑等、各種ののこ屑からのホロセルロース分解酵素群によるD-キシロース生産  
岐阜大学 井戸田修、高見澤一裕
- P 2 B 11-2 木質系廃棄物を利用した強化型調湿炭に関する研究  
近畿大学 中西亜貴夫、玉井元治、棚田成紀
- B 11-3 有用物質大量生産システム(昆虫工場)廃棄物からカイコ幼虫クチクラ・絹糸腺・残渣粉末を自動選別する装置の開発  
(独)農業生物資源研究所 羽賀篤信、Zbigniew Draczynski
- B 11-4 有機性廃棄物からの乳酸発酵条件の最適化と物質収支に関する研究  
(独)国立環境研究所 大河内由美子、井上雄三
- B 11-5 焼酎蒸留粕のろ液を減圧蒸留して得られる凝縮液の特性  
宮崎大学 安井賢太郎、増田純雄 鹿児島工業高等専門学校 山内正仁
- P 1 B 11-6 ミクロフローラによる有機性廃棄物からの水素発酵  
(株)西原環境テクノロジー 松本寿美、大下信子、竹本 裕
- B 11-7 ミミズを利用した種々の有機廃棄物処理の試み  
北海道大学 藤原充志、鈴木貴洋、春木雅寛
- P 2 B 11-8 食品廃棄物である卵殻膜を導入したキトサンビーズによる工業排水中の貴金属の回収  
東京工業高等専門学校 宮崎誉教、庄司 良 ロボットメーション(株) 加藤幹夫
- B 11-9 家畜排泄物の超臨界水中燃焼・エネルギー回収技術  
静岡大学 佐古 猛、松永健吾、相馬弘幸
- B 11-10 宮崎県における畜産廃棄物発生に伴う肥料成分フローに関する研究  
宮崎大学 土手 裕、関戸知雄、福永宗介
- P 1 B 11-11 超臨界水によるバイオマス廃棄物のガス化・水素製造  
静岡大学 岡島いづみ、下山大輔、佐古 猛
- P 2 B 11-12 使用済み紙おむつの再資源化及び資源化システムに関する研究(4)  
福岡大学 松藤康司、柳瀬龍二、吉原 享

C 1 焼却技術(1) 【 10月24日(金) 第1会場 9:30-11:30 】

- C 1-1 酸素富化燃焼技術の開発  
石川島播磨重工業(株) 上野俊一朗、松澤克明、西野順也
- C 1-2 酸素富化条件における脱水汚泥の燃焼特性に関する研究  
中部大学 二宮善彦 (株)アクトリー 増井 芽 金沢大学 金岡千嘉男
- C 1-3 旋回流型流動床式ガス化溶融炉 運転教育シミュレータの開発  
宇部市 佐古則男 (株)荏原製作所 高橋清隆、佐藤光子

- P 1 C 1-4 ステレオ画像処理を用いた都市ごみ焼却炉における高度ごみ供給管理システムの開発  
I B M 伊藤大輔 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- C 1-5 ごみ焼却炉燃焼場のレーザ計測技術とその応用  
(株)タクマ 劉 大偉、秋山 仁、片岡静夫
- C 1-6 高効率 RDF 発電ボイラの技術開発及び運転報告  
川崎重工業(株) 菊池昭二美、松下康樹、竹田航哉
- C 1-7 スーパーごみ発電プラントの動特性解析と制御  
川崎重工業(株) 湯浅健司、栗林栄一、藤田志津男
- P 2 C 1-8 廃棄物から熱生成する有機塩素化合物の PyGC/MS による同定  
(独)国立環境研究所 橋本俊次、安原昭夫、酒井伸一
- P 1 C 1-9 廃棄物から熱生成するクロロベンゼン類の PyGC/MS による定量  
(独)国立環境研究所 橋本俊次、安原昭夫、酒井伸一
- P 2 C 1-10 えひめ方式小型焼却炉のダイオキシン類簡易削減実証試験  
愛媛大学 山下正純、本田克久、脇本忠明
- C 1-11 燃焼排ガスの水中インジェクションによるダイオキシン類簡易除去  
大阪大学 川端弘俊、藪中歩荷、碓井建夫
- C 1-12 流動床式焼却施設におけるダイオキシン類低減化 - 運転管理によるアプローチ -  
石川島播磨重工業(株) 櫻井健士、梶原吉郎 岡山大学 田中 勝

C 2 焼却技術 ( 2 ) 【 10 月 23 日 ( 木 ) 第 2 会場 16:00-17:45 】

- C 2-1 次世代ストーカ炉・酸素リッチ燃焼システムの開発(燃焼条件の最適化)  
三菱重工業(株) 馬渡匡之、田熊昌夫、倉西 実
- C 2-2 次世代型ストーカ式焼却炉による低空気比燃焼の実現とその効果  
J F E エンジニアリング(株) 宮越靖宏、西野雅明、立福輝生
- C 2-3 排ガス再循環を用いたストーカ式焼却プラントにおける低空気比燃焼  
(株)荏原製作所 山本充利、塚本輝彰、山田康登
- P 1 C 2-4 水冷火格子実証試験結果報告  
住友重機械工業(株) 藤田健司、江原信夫、河上 勇
- P 2 C 2-5 新燃焼方式を用いた小型バッチ式焼却炉の開発  
長崎大学 奥村佳代、石橋康弘、武政剛弘
- C 2-6 高カロリー都市ごみを対象とした最新小型流動床の運転状況報告  
川崎重工業(株) 菊池昭二美、片畑 正、井原崇之
- C 2-7 ストーカ式焼却炉とプラズマ溶融炉を適用した最新施設の運転実績  
(株)神戸製鋼所 山上恵造、清水由章、島倉久範
- C 2-8 高炉床負荷型流動床式焼却炉とプラズマ溶融炉を適用した最新施設の運転実績  
(株)神戸製鋼所 小倉賢蔵、木下民法、山形成生
- P 1 C 2-9 ラボスケールの燃焼実験による重金属類の挙動  
(独)国立環境研究所 貴田晶子、酒井伸一
- C 2-10 高効率廃棄物発電ボイラの過熱器管用高耐食セラミックスコーティングの実証試験  
九州電力(株) 今泉幸男 三菱重工業(株) 川原雄三 山田金属防蝕(株) 入江政信

C 3 排ガス処理 【 10 月 22 日 ( 水 ) 第 1 会場 13:00-14:45 】

- P 2 C 3-1 ディーゼルエンジン排ガス中における NOx 低減化  
大阪府立産業技術総合研究所 入江年優、広畑 健 (株)E・テック 渡邊 勲
- C 3-2 ガラス繊維バグフィルタの高耐久性化  
(株)タクマ 篠田高明 麻益(株) 犬塚仁士 カネボウ(株) 松尾泰樹
- P 1 C 3-3 模擬ごみ加熱時における塩素化合物の生成・排出挙動  
早稲田大学 松方正彦 J F E エンジニアリング(株) 岩崎敏彦、塩満 徹
- P 2 C 3-4 建設廃木材の焼却生成物質(第2報)  
埼玉県環境科学国際センター 倉田泰人、川崎幹生、渡辺洋一
- P 1 C 3-5 OH ラジカルによるペンタクロロフェノールの分解と Cl イオンの影響  
中外炉工業(株) 加藤卓巳 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- C 3-6 廃棄物再生燃料(RDF)の流動層燃焼からの凝縮性浮遊粒子状物質の排出挙動  
東京農工大学 堀川愛子、塚田まゆみ、神谷秀博
- C 3-7 廃棄物処理における排ガス中のダイオキシン類と一酸化炭素濃度の低減への取組み  
同和鉱業(株) 山口潔實 呉羽環境(株) 福田弘之
- C 3-8 ナトリウム系薬剤による乾式塩化水素除去システムの実機性能について  
三井造船(株) 杉本富男、宮川 満、板谷真積

- P 2 C 3-9 阿蘇黄土を使ったダイオキシン類の吸着・分解剤の開発  
(独)産業技術総合研究所 木村邦夫 新日本製鐵(株) 桜木準一 (株)テツゲン 千葉道夫
- C 3-10 活性炭系吸着剤による模擬排ガス中クロロベンゼン化合物の吸着特性  
(独)国立環境研究所 井上研一郎、川本克也
- P 1 C 3-11 活性炭素繊維を用いたダイオキシン除去プロセスの開発とダイオキシンの多成分固定層吸着挙動(第2報)  
大阪ガス(株) 森 耕三、松井久次、中川善照
- C 3-12 薬剤による集塵灰中ダイオキシン類の分解処理試験結果  
荏原エンジニアリングサービス(株) 池田 太、山口 繁 (株)荏原製作所 堤かおり
- C 3-13 廃棄物燃焼により発生するダイオキシン類の生成抑制  
Hit z 日立造船(株) 古林通孝、長井健一
- P 2 C 3-14 飛灰上での芳香族塩素化合物の生成に対するナトリウム、カルシウム化合物の添加効果  
日立製作所(株) 佐々木崇 京都大学 高岡昌輝、大下和徹

C 4 ダイオキシン脱塩素・分解 【 10月22日(水) 第1会場 10:00-12:00 】

- C 4-1 「エコセンター番匠」飛灰加熱処理装置によるダイオキシン類処理と重金属安定剤使用量低減  
佐伯地域広域市町村圏事務組合 田崎 誠 J F E エンジニアリング(株) 杉山俊行、塩満 徹
- C 4-2 誘導加熱を用いた内熱型飛灰加熱脱塩素化装置の開発  
Hit z 日立造船(株) 佐々木加津也、廣常晃生、金田 聡
- C 4-3 飛灰中ダイオキシン加熱分解処理における未燃炭素の影響  
北海道大学 角田芳忠、松藤敏彦 (株)タクマ 増田孝弘
- C 4-4 揮発脱離分解プロセスによる飛灰中ダイオキシン類および多環芳香族炭化水素の除去  
J F E エンジニアリング(株) 平山 敦、塩満 徹、岩崎敏彦
- C 4-5 一般ごみ焼却飛灰に含まれるダイオキシン類のマイクロ波プラズマによる分解と完全無害化  
名古屋大学 笹井 亮、佐藤 綾、伊藤秀章
- C 4-6 マイクロ波飛灰無害化装置の開発  
日本スピンドル製造(株) 中村 信、木嶋敬昌 大阪大学 柳田祥三
- P 1 C 4-7 フェノール酸化カップリング：脱硝触媒上でのダイオキシン類生成に対する貴金属触媒の抑制効果  
名古屋大学 駒井慎一、薩摩 篤、服部 忠
- C 4-8 ハニカム触媒の分割によるダイオキシン分解性能の向上  
三菱重工業(株) 鈴木 匠、西澤和樹、金山真介
- C 4-9 触媒による排ガス中のダイオキシン類分解試験  
(株)テクノフロンティア 山本陽一、深澤克尚 三井化学(株) 堀内伸彦

C 5 ダイオキシン生成・排出・分析 【 10月22日(水) 第1会場 15:00-17:00 】

- C 5-1 産業廃棄物焼却施設ばいじん中のダイオキシン類濃度の日間変動  
大阪市立環境科学研究所 酒井 護、西谷隆司、鶴保謙四郎
- P 2 C 5-2 臭素化ダイオキシン類の熱力学データの計算および生成に関する熱力学的検討  
東北大学 柴田悦郎、李 咸偉、中村 崇
- C 5-3 燃焼器内でのダイオキシン類の生成挙動  
(独)産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 5-4 排ガス処理過程における DXN 類の挙動と未燃炭素の関係  
東京大学 古角雅行
- P 2 C 5-5 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係 ~炭素の低温酸化における飛灰構成金属の触媒作用~  
東京大学 古角雅行 (株)クボタ 釜田陽介、倉田雅人
- P 1 C 5-6 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係 ~炭素材揮発分と DXN 生成との関係~  
東京大学 古角雅行 (株)クボタ 釜田陽介
- P 2 C 5-7 固体試料の加熱によるクロロベンゼン類の生成に対する塩化物および酸化物の影響  
関東学院大学 鈴木和将(独)国立環境研究所 川本克也
- C 5-8 レーザイオン化 TOFMS 法を適用した排気中 PCB モニタリングの信頼性向上  
三菱重工業(株) 吉良雅治、土橋晋作、出口祥啓
- P 1 C 5-9 半揮発性有機ハロゲン化合物による de novo 合成モニタリングへの試み  
大阪市立環境科学研究所 高倉晃人、福山丈二 京都大学 渡辺信久
- C 5-10 脱塩素化処理過程におけるバイオアッセイを用いたダイオキシン類モニタリング  
(株)川崎重工業 松山和琴、尾崎弘憲 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- P 2 C 5-11 廃棄物焼却炉排ガス中ダイオキシン類削減のための総合運転管理手法の開発  
岡山大学 田中 勝 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 J F E スチール(株) 永野英樹
- P 2 C 5-12 ダイオキシン類の高精度迅速分析  
環境テクノ(株) 常藤透朗



- C 5-13 免疫化学測定法によるダイオキシン類の迅速測定  
(株)タクマ 中谷康平 東洋紡績(株) 西井重明 (株)タクマ 藤平弘樹
- P 1 C 5-14 バリヤー放電ラジオ波ヘリウムプラズマ発光分析法による有機塩素および有機臭素の定量  
Hitiz 日立造船(株) 村谷陽子 京都大学 渡辺信久、高月 紘
- C 5-15 次世代ストーカ炉におけるダイオキシン類およびクロロベンゼン類の排出挙動に関する研究  
岡山大学 田中 勝 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 (株)タクマ 秋山 仁
- P 2 C 5-16 排ガス中クロロベンゼン類の排出特性とダイオキシン類二次生成信号としての利用  
岡山大学 田中 勝 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 J F E スチール(株) 永野英樹
- C 5-17 八口ワックス中のダイオキシン類と毒性等量について  
(独)国立環境研究所 野馬幸生、山本貴士、酒井伸一
- P 1 C 5-18 飛灰中 PCBs と CBzs におけるマイクロウェーブ抽出法とソックスレー抽出法の比較  
京都大学 孫 軼斐、高岡昌輝、武田信生

C 6 ガス化溶融(1) 【10月23日(木) 第1会場 9:15-11:00】

- C 6-1 埋立地再生へのガス化溶融処理技術の適用  
(財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 新日本製鐵(株) 長田守弘、高宮 健
- P 2 C 6-2 直接溶融炉における掘り起こし埋立ごみの溶融処理システム ~最終処分場延命化への取り組み~  
巻町外三ヶ町村衛生組合 阿部 昭 (株)エスイイシイ 佐藤和美 新日本製鐵(株) 真名子一隆
- C 6-3 流動床式ガス化溶融炉による高効率発電ならびに埋立残渣・他所灰処理について  
(株)荏原製作所 加藤涼一、東 伸哉
- C 6-4 流動床式ガス化溶融炉における掘起こしごみ処理  
(株)神戸製鋼所 梶原康司、二階堂宏央、高橋正光
- C 6-5 都市ごみ流動床式ガス化溶融施設の運転状況  
(株)神戸製鋼所 佐藤修一、佐藤義一、白石幸弘
- C 6-6 ガス化溶融設備(ガス化改質方式)による都市ごみ処理  
三菱マテリアル(株) 荒川茂宏、山手一記 アックス・グリーン・サービス(株) 関口洋一
- C 6-7 直接溶融・資源化システムにおける大型施設への取り組み  
秋田市 高島忠雄 大分市 広瀬広義 新日本製鐵(株) 高田純一
- C 6-8 廃棄物高温ガス化直接溶融処理プロセスの数値シミュレーション  
東北大学 梁 小平、埜上 洋、八木順一郎

C 7 ガス化溶融(2) 【10月23日(木) 第1会場 16:00-17:45】

- C 7-1 都市ごみの熱分解特性およびガス化特性  
名古屋大学 小川章一、水上裕人、坂東芳行
- C 7-2 廃棄物熱分解ガス化のモデル化  
(独)国立環境研究所 呉 畏、倉持秀敏、川本克也
- P 1 C 7-3 水蒸気プラズマによる炭化物減量プロセスの観察  
大阪大学 伊部匡晃、西川 宏、田中 学
- C 7-4 トルエンを用いた廃棄物熱分解ガス模擬タールの水蒸気改質  
東京工業大学 吉川邦夫 (財)石油産業活性化センター 下 紳郎 東京工業大学 野網哲史
- C 7-5 廃棄物の熱分解ガス化過程における有害物質および燃料電池被毒物質の平衡組成の計算  
(独)国立環境研究所 倉持秀敏、呉 畏、川本克也
- C 7-6 廃棄物のガス化・改質プロセスにおける有害ガスの挙動  
新興プランテック(株) 原 勉 東京工業大学 吉川邦夫 (株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直
- C 7-7 臭素系難燃剤を含むプラスチックの熱分解挙動  
広島県 大西康史 京都大学 渡辺信久、水谷 聡
- P 2 C 7-8 廃棄物ガス化発電用混焼ディーゼルエンジンの機関特性  
東京工業大学 吉川邦夫、田畑大輔
- P 1 C 7-9 超小型廃棄物ガス化発電の研究開発  
(株)マイクロ・エナジー 橋本芳郎 東京工業大学 吉川邦夫、山下英彦
- C 7-10 分散型廃棄物ガス化発電システムの性能評価  
(株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直 東京工業大学 吉川邦夫 新興プランテック(株) 原 勉
- P 2 C 7-11 小型廃棄物ガス化発電システムにおけるガス化炉への水蒸気投入の効果  
東京工業大学 磯部芳美、吉川邦夫 新興プランテック(株) 原 勉

C 8 焼却灰性状・溶融 【 10月23日(木) 第3会場 9:15-11:00 】

- C 8-1 焼却灰組成の違いがスラグ品質に与える影響  
長岡技術科学大学 渡部真紀子、姫野修司、小松俊哉
- P 1 C 8-2 飛灰中重金属に対する逐次抽出法の確立  
京都大学 船附淳志、高岡昌輝、大下和徹
- C 8-3 逐次抽出法と XANES による溶融飛灰中の亜鉛の化学状態の比較  
京都大学 高岡昌輝 J F E エンジニアリング(株) 河合利幸 京都大学 武田信生
- C 8-4 焼却施設内たい積物の化学組成と鉱物種  
千葉県環境研究センター 原 雄、依田彦太郎、半野勝正
- P 2 C 8-5 蛍光 X 線分析法を用いた下水処理活性汚泥焼却灰の全分析  
明治大学 坂本純一、中村利廣 三機工業(株) 小松貴司
- C 8-6 溶融塩 - スラグ間の重金属の分配挙動  
東北大学 柴田悦郎 (株)神戸製鋼所 福田和博 東北大学 中村 崇
- C 8-7 灰溶融施設・ガス化溶融施設における金属収支  
北海道大学 鄭 昌煥、松藤敏彦、田中信壽
- C 8-8 ノントランスファー式プラズマトーチによる各種焼却残さ溶融特性  
(株)神戸製鋼所 梶原康司、田頭成能、清水由章
- C 8-9 欧州規格による廃棄物のキャラクタリゼーションについて(1)  
(財)岡山県環境保全事業団 築谷淳志 岡山大学 田野崎隆雄 (財)クリーン・ジャパンセンター 中村和史
- P 1 C 8-10 ばいじん等の化学組成・鉱物組成と塩酸処理によるダイオキシン類分析値の変化について  
千葉県環境研究センター 半野勝正、原 雄、依田彦太郎
- P 2 C 8-11 石炭火力発電所より発生する石炭灰フライアッシュのパロリゼーション評価(2)  
INSA-Lyon 田野崎隆雄 (財)岡山県環境保全事業団 築谷淳志 (株)ウエスコ 宗村邦嗣

C 9 焼却灰安定化 【 10月24日(金) 第2会場 9:30-11:30 】

- C 9-1 都市ごみ焼却灰の焼成処理による溶出特性  
石川島播磨重工業(株) 松澤克明、上野俊一郎、西野順也
- C 9-2 有機溶媒抽出法によるキレート処理飛灰中重金属形態変化の解明  
秋田工業高等専門学校 斎倉宏史
- C 9-3 石炭灰の有効利用に関する安全性向上技術の開発 - ほう素等の酸洗浄処理における洗浄液繰返し使用の検討 -  
(株)大林組 甚野智子 オルガノ(株) 山岸利男 相馬環境サービス(株) 熊谷祐一
- C 9-4 炭酸化・リン酸併用処理による飛灰中重金属固定の影響因子の検討  
栗田工業(株) 松本克美、内田敏仁 九州大学 島岡隆行
- P 1 C 9-5 溶融飛灰セメント固化の前処理としての炭酸化によるセメント削減の検討  
宮崎大学 縄田大輔、土手 裕、関戸知雄
- P 2 C 9-6 都市ごみ焼却灰より作製した水熱固化体からの鉛の溶出挙動(その1)  
(財)科学技術交流財団 臼井敏紀 名古屋市工業研究所 佐藤 眞
- C 9-7 カラム浮選による都市ごみ焼却飛灰中有機塩素化合物の分解除去に関する研究  
京都大学 黄 瑛、高岡昌輝、武田信生
- C 9-8 化学組成調節による溶融飛灰の加熱安定化処理  
東京農工大学 神谷幸資、成 昊鎮、堀尾正勲
- C 9-9 都市ごみ溶融飛灰に含まれる Na、K、Ca 塩による重金属塩化揮発挙動  
新東エコテックカンパニー(株) 中山勝也、高田 満 名古屋大学 松田仁樹
- C 9-10 都市ごみ焼却飛灰中に存在する重金属と有機物の相互作用に関する基礎的研究(第一報) - 相互作用の特性化指標について -  
東京工業大学 北村光太郎 (独)国立環境研究所 大迫政浩、金 容珍

D 1 埋立地浸出水 【 10月23日(木) 第10会場 16:00-17:30 】

- P 1 D 1-1 最終処分場浸出水集排水施設に係る一考察  
(株)中央設計技術研究所 中島雅達、山本正樹
- D 1-2 埋立密度の相違による浸出水の水量及び水質特性に関する研究  
国際航業(株) 西村義之 大成建設(株) 押方利郎 (有)エコ・プランナーズ 朴 升鐸
- D 1-3 促進酸化法による最終処分場浸出水中ダイオキシン類の低減化処理  
(株)アーシン 吉川克彦 大阪人間科学大学 福永 勲 福岡大学 松藤康司
- D 1-4 促進酸化法によるダイオキシン類の分解特性 ~UV/O<sub>3</sub>法へのH<sub>2</sub>O<sub>2</sub>添加効果とダイオキシン類の分解経路の推定~  
日立プラント建設(株) 井坂和一 (独)国立環境研究所 大迫政浩、金 容珍

- D 1-5 多段式 O<sub>3</sub>/H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> 処理法による浸出水ダイオキシン類対策  
(株)タクマ 松田由美、宍田健一、坂上正美
- D 1-6 最終処分場浸出水の真空蒸発処理技術について  
環境計画センター 鍵谷 司 (株)サクラ 濱野泰幸、望月博昭
- D 1-7 ハイブリッド型システムを用いた浸出水処理の検討  
アタカ工業(株) 八巻昌宏、宮前博子、奥野芳男

D 2 埋立地しゃ水(1) 【 10月23日(木) 第4会場 9:15-11:00 】

- D 2-1 ガス通気・雨水制御キャッピング材の開発  
清水建設(株) 大野文良 三ツ星ベルト(株) 加納 光 帝人テクノプロダクツ(株) 本名 浩
- P 2 D 2-2 降雨によるキャッピング用ジオシンセティック上の覆土の挙動  
太洋興業(株) 下田宏治 大和紡績(株) 岸本宣人 三菱化学MKV(株) 鳥居一春
- D 2-3 処分場閉鎖工事におけるキャピラリーバリア型覆土の適用例  
日本国土開発(株) 鈴木正人、中尾法生、山口陽久
- D 2-4 コンクリート構造物への遮水シートの固定及び止水構造の検討について  
東洋ゴム工業(株) 宮地秀樹、谷口俊哉
- D 2-5 突起物貫入による遮水シートの破断とひずみ分布の関係  
国土技術政策総合研究所 狩野真吾 五洋建設(株) 吉田 誠 国土技術政策総合研究所 諸星一信
- P 1 D 2-6 遮水シートの厚さがシート破断に及ぼす影響について  
国土技術政策総合研究所 諸星一信、狩野真吾 五洋建設(株) 吉田 誠
- D 2-7 遮水シートの可視近赤外分光法による非破壊試験法の開発  
九州大学 井上幸一、中山裕文、島岡隆行
- P 2 D 2-8 アスファルトコンクリートで挟まれたしゃ水シートの健全性について(2) - しゃ水シート上に敷設されたアスファルトコンクリートの保護効果 -  
(株)大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路(株) 堀 浩明
- D 2-9 ベントナイト混合土電気伝導率試験法の研究  
西武建設(株) 成島誠一 アクテック(株) 稲元裕二、成海みね子
- D 2-10 ベントナイト混合土の添加率確認試験の評価  
日商岩井ベントナイト(株) 加藤啓樹 三井住友建設(株) 土居洋一 宇都宮大学 今泉繁良
- P 1 D 2-11 芳野廃棄物最終処分場におけるヒューマンエラーを考慮したベントナイト混合土の品質管理事例  
飛鳥建設(株) 松崎達也 西武建設(株) 新井靖典 (株)ホー・ジュン 水野克己

D 3 埋立地しゃ水(2) 【 10月23日(木) 第9会場 16:00-17:45 】

- D 3-1 廃棄物最終処分場におけるベントナイトブロックの開発  
西武建設(株) 成島誠一 (株)ホー・ジュン 岡田朋子
- D 3-2 ジオメンブレンとジオシンセティッククレイライナーを組み合わせた複合ライナーの2割法面部長期応力ひずみ  
(株)ホー・ジュン 水野正之、水野克己 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫
- P 2 D 3-3 クレイジオシンセティックバリア(CGB)の耐化学性能を高めるプレハイドレーションの効果  
京都大学 勝見 武 (株)奥村組 小河篤史 立命館大学 深川良一
- D 3-4 超吸水繊維による自己修復型不織布の研究  
(株)ブリヂストン 柏木哲也、原田高志 東洋紡績(株) 寺田達雄
- D 3-5 鋼管矢板継ぎ手部のプレファブアスファルトマスチックによる止水実験  
大成ロテック(株) 伊藤隆彦 ティー・アール・コンサルタント(株) 山田美孝、阿部晋二
- D 3-6 廃棄物海面処分場護岸における袋式二重構造遮水シートの開発と模型実験  
若築建設(株) 兵頭武志 太洋興業(株) 河口武志 東ソー・ニッケミ(株) 松村 聡
- P 1 D 3-7 海面処分場に適用可能な漏水検知システム(その3) - 大型モデル実験の実施結果について -  
五洋建設(株) 羽田 晃、小久保裕、五月女洋
- D 3-8 漏水位置検出のためのインバージョン法を用いた点電流源の解析方法  
応用地質(株) 青池邦夫、小林 剛、利岡徹馬
- P 2 D 3-9 電気式漏水検知システムの実処分場への適用  
応用地質(株) 小林 剛、濱田正志
- D 3-10 地下水汚染リスクを視点とした最終処分場施設の検証と埋立管理手法の研究  
岡山大学 水野克己 旭川市 佐藤道明 日本技術開発(株) 織織卓也
- P 1 D 3-11 最終処分場のしゃ水構造から提案される課題  
福岡大学 長野修治 (株)建設工学研究社 山内一生
- P 2 D 3-12 廃棄物最終処分場底部近傍温度に関する研究  
室蘭大学 吉田英樹、穂積 準

- P 1 D 3-13 土質遮水層の重金属吸着性能評価  
(株)間組 則松 勇 クニミネ工業(株) 新野正明
- D 4 埋立地安定化(1) 【 10月22日(水) 第4会場 10:00-12:00 】
- D 4-1 廃棄物最終処分場の機能変更に関する諸問題  
北海道大学 川口光雄、古市 徹、谷川 昇
- P 2 D 4-2 生活系廃棄物地盤の力学的性質と耐震性に関する研究  
不動産建設(株) 河野有司、桑原正彦 東京大学 東畑郁生
- D 4-3 生分解材料による最終処分場覆土代替材実験  
ゼオン環境資材(株) 安藤章宣 太陽工業(株) 今林 修、上田滋夫
- D 4-4 洗浄灰と未洗浄灰からの有機物、無機塩類の溶出調査(第2報)  
ユニチカ(株) 三角文彦福岡大学 樋口壯太郎福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- D 4-5 埋立覆土類の乾式無害化処理技術  
J F Eエンジニアリング(株) 山崎茂樹、塩満 徹 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭
- D 4-6 埋立用産業廃棄物の前処理の検討  
岡山県工業技術センター 吉松英之 岡山大学 田中 勝 岡山県環境保全事業団 築谷淳志
- D 4-7 埋立前処理における廃棄物洗浄排水の処理  
福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 東レエンジニアリング(株) 川端康二
- P 1 D 4-8 埋立前処理における脱塩濃縮水の再資源化処理  
福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 神鋼パテック(株) 小林俊幸
- D 4-9 埋立地再生におけるピットの有効性  
大成建設(株) 臼井直人、押方利郎 福岡大学 樋口壯太郎
- P 2 D 4-10 廃棄物静的圧縮工法による減容化実証実験と早期安定化への適用  
福岡大学 樋口壯太郎 (株)間組 則松 勇 海洋工業(株) 池田通陽
- P 1 D 4-11 シュレッダーダストを主体とする最終処分場の減容化に関する基礎的実験  
(株)間組 弘末文紀 仙台環境開発(株) 渡邊晋二 (株)間組 松本江基
- D 4-12 湿式による掘起しごみの洗浄・選別処理  
(株)熊谷組 亀山敏治 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀明
- D 5 埋立地安定化(2) 【 10月22日(水) 第4会場 15:00-17:00 】
- D 5-1 埋立地再生における環境保全対策に関する基礎研究  
福岡大学 樋口壯太郎 日本技術開発(株) 横山睦正、高橋富男
- D 5-2 埋立地再生への選別技術の適用  
(株)小松製作所 中村城治 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭、大副玄治郎
- D 5-3 埋立地再生のための判断基準について  
東和科学(株) 笹井 裕 応用地質(株) 内田康文 鹿島建設(株) 押野嘉雄
- P 2 D 5-4 埋立地延命化のための既埋立焼却残渣のセメント原料化に関する研究  
九州大学 崎田省吾、島岡隆行 麻生セメント(株) 安辺浩市
- P 1 D 5-5 破碎不燃物埋立地の安定化促進と遮水鋼板の腐食耐久性実験  
(株)横河ブリッジ 永田 考、小櫻義隆 福岡大学 樋口壯太郎
- D 5-6 ハイドロタルサイトを用いた硫酸還元菌による硫化水素発生抑制効果  
東北大学 内田美穂、今原裕章、奥脇昭嗣
- D 5-7 最終処分場における硫化水素対策(その2) - 鉄系廃棄物による混合処理 -  
埼玉県環境科学国際センター 成岡朋弘、康 躍恵、小野雄策
- D 5-8 海水中における焼却灰の沈降・堆積過程と汚濁成分の挙動について  
九州大学 古賀大三郎、島岡隆行、崎田省吾
- D 5-9 廃棄物埋立地内の超長期的物質挙動予測モデルの開発  
北海道大学 東條安匡、田中信壽 (独)国立環境研究所 大迫政浩
- D 5-10 クローズドシステム処分場の安定化促進のための散水  
- 洗い出しモデルの実験的検討 ~ 散水強度と蒸発の影響  
について~  
北海道大学 築取優丞、古市 徹、石井一英
- D 6 埋立地モニタリング 【 10月22日(水) 第4会場 13:00-14:45 】
- D 6-1 LIDAR による古紙覆土代替材の飛散抑制効果の測定  
栗田工業(株) 有賀久道、満田匡彦、内田敏仁
- D 6-2 最終処分場におけるばいじん等の簡易な飛散確認方法について  
神奈川環境科学センター 福井 博、斎藤邦彦、高橋通正

- P 2 D 6-3 レーザーメタン検出器を用いた処分場地表面からのメタン放出地点のスクリーニング  
(独)国立環境研究所 山田正人、石垣智基 神戸市 高田光康
- D 6-4 埋立地表面における地温とメタンフラックスの関係(3)  
(独)国立環境研究所 山田正人、石垣智基 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策
- P 1 D 6-5 オープンパス型自動計測器を用いた埋立ガスのモニタリング方法の検討  
北海道大学 小田希美子、古市 徹、谷川 昇
- P 2 D 6-6 管理型最終処分場の廃止基準に関する考察(2)  
埼玉県環境科学国際センター 長森正尚、小野雄策 (独)国立環境研究所 山田正人
- D 6-7 安定型産業廃棄物最終処分場の熱赤外線画像装置による監視手法の検討  
福岡県保健環境研究所 土田大輔、高橋浩司 九州大学 島岡隆行
- D 6-8 比抵抗分布からみた廃棄物層起源の汚染地下水浸透経路の推定  
千葉県環境研究センター 香村一夫、原 雄、楠田 隆
- D 6-9 廃棄物埋立地における微生物機能の評価に関する研究(1)  
福岡大学 尾木陽子、立藤綾子、松藤康司
- D 6-10 廃棄物最終処分場安定化指標としての微生物群集モニタリング  
(独)国立環境研究所 石垣智基、山田正人 釜山大学 李 泰鎬
- D 7 化学物質の溶出と挙動/バイオモニタリング 【 10月24日(金) 第3会場 9:30-11:15 】
- D 7-1 使用済み乾電池の埋立処分に関する研究(11) -埋立10年と15年の比較検討-  
福岡大学 柳瀬龍二、平野文昭、松藤康司
- P 2 D 7-2 管理型処分場の底面遮水工における汚染物質の拡散防止効果に関する考察  
中電技術コンサルタント(株) 蔦川 徹 呉工業高等専門学校 森脇武夫 埼玉大学 小松登志子
- D 7-3 浸出水処理プロセスにおける内分泌かく乱物質の処理特性に関する実験  
北海道大学 田中信壽、朝倉 宏 日揮(株) 栗田祐希
- D 7-4 難燃加工プラスチックからの臭素系難燃剤の溶出特性  
(独)国立環境研究所 金 容珍、大迫政浩、酒井伸一
- D 7-5 環境大臣が指定する安定型産業廃棄物の検討調査について  
環境省 松山豊樹、松澤 裕
- D 7-6 埋立て処分場浸出処理水のヒメダカ胚に対する影響  
岡山大学 炭谷晃平、小野芳朗 (独)国立環境研究所 柏田祥策
- D 7-7 生物を用いた最終処分場排水中未規制物質の生態モニタリングシステムに関する研究(2)  
熊本県立大学 土井麻記子、深津和彦 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- D 7-8 最終処分場浸出水のリスク早期警戒システムの構築 -生物試験バッテリーへ-  
(独)国立環境研究所 山田正人、毛利紫乃、井上雄三
- P 1 D 7-9 最終処分場浸出水のリスク早期警戒システムの構築 -umu試験スコアリング-  
(独)国立環境研究所 山田正人、毛利紫乃、井上雄三
- P 2 D 7-10 アフリカツメガエル初期胚催奇形性試験(FETAX)を用いた埋立地浸出水のモニタリング  
(独)国立環境研究所 滝上英孝、酒井伸一、山田正人
- P 2 D 7-11 金魚を用いた in vivo 変異原性試験による最終処分場浸出水の安全性評価  
静岡県立大学 木苗直秀、増田修一、出口雄也
- P 1 D 7-12 埋立処分場浸出水のヒメダカ・バイオアッセイによる環境リスク評価  
岡山大学 尾崎夏栄、小野芳朗 (独)国立環境研究所 柏田祥策
- P 2 D 7-13 ムラサキガイを用いた埋立浸出水のモニタリング  
富山県立大学 楠井隆史 三重大学 原田美穂 新潟大学 橋 美奈
- P 1 D 7-14 最終処分場浸出水が植物に及ぼす影響評価  
神戸商船大学 岡村秀雄、井藤悠貴、藤田あい
- P 2 D 7-15 簡易化藻類増殖阻害試験の埋立処分場浸出水有害性評価への適用  
北里大学 国本 学、豊田智子、岡村芙美
- P 1 D 7-16 廃棄物埋立地浸出水及び処理水中の無機成分及び含酸素化合物と含窒素化合物について(平成14年度調査結果)  
(独)国立環境研究所 安原昭夫、毛利紫乃、山田正人
- P 2 D 7-17 変異原性およびエストロゲン様活性より見た埋立処分場浸出水のバイオモニタリング  
大阪市立環境科学研究所 北野雅昭、船坂邦弘、芳倉太郎
- E 1 PCB等処理 【 10月24日(金) 第10会場 9:30-11:00 】
- E 1-1 真空加熱分離過程における操作条件と処理性の関係  
トヨタ自動車(株) 佐々木智子、光原好人、松山喜代志
- P 1 E 1-2 Pd/C 触媒法による実証試験装置でのPCB連続処理  
(株)関西テック 大野正之、八木富士夫、池田 勝

- E 1-3 PCB 残渣を原料とした KOH 賦活活性炭の製造  
名古屋大学 渡辺藤雄、坂田美和 トヨタ自動車(株) 松山喜代志
- E 1-4 金属ナトリウム分散剤を用いる PCB 脱塩素反応過程の解析  
名古屋大学 小林敬幸、黄 宏宇 トヨタ自動車(株) 松山喜代志
- E 1-5 PCB を主成分とする絶縁油試料中のフェニルスズ化合物の分析  
(独)国立環境研究所 山本貴士、野馬幸生、酒井伸一
- P 2 E 1-6 オンライン PCB モニタの開発  
(株)日立ハイテクノロジーズ 柴田信之 (株)日立製作所 山田益義 (独)国立環境研究所 森田昌敏
- E 1-7 PCB 含有コンデンサの洗浄法による処理性評価  
トヨタ自動車(株) 布尾悦朗、浜井満彦、松山喜代志
- E 1-8 有機塩素化合物を含む廃棄物の溶剤洗浄  
名古屋大学 安田啓司、二井 晋、竹内 旭
- E 2 **ダイオキシン・微生物分解 【 10月23日(木) 第2会場 9:15-10:45 】**
- E 2-1 リグニン分解酵素含有培養液による灰ダイオキシン類の分解  
大成建設(株) 斎藤祐二、万字角英
- E 2-2 白色腐朽菌による環境ホルモンの分解について  
(株)タクマ 福里 豊、鮫島良二
- P 1 E 2-3 半回転混合式培養装置によるダイオキシン汚染土壌の処理  
神奈川県環境科学センター 惣田昱夫 北海道大学 古市 徹、石井一英
- P 2 E 2-4 モノクローナル抗体による PCB 分解酵素発現量の解析  
(株)環境管理センター 柏木雅充、松本えみ子、林 義雄
- E 2-5 ダイオキシン類の微生物分解処理の実用化に向けた研究 ~ 処理後土壌の菌体消毒方法の確立と酵素による分解の検討 ~  
北海道大学 松田悠見、古市 徹、石井一英
- P 1 E 2-6 Pseudallescheria boydii による無塩素化ダイオキシン分解経路に関する研究  
(株)環境管理センター 中村まこと 北海道大学 石井一英、古市 徹
- E 2-7 ファイトレメディエーション技術の評価研究  
大阪ガス(株) 大隅省二郎、直井彰秀
- E 2-8 間接熱脱着処理による難分解性物質汚染土壌の浄化について  
(株)鴻池組 小山 孝、中島卓夫 宇部興産(株) 田野龍海
- E 2-9 電解抽出による土壌・底泥からの有機汚染物質除去の検討  
筑波大学 三好久美子、松村正利
- P 2 E 2-10 BCD 法によるダイオキシン類汚染土壌浄化と副生物の再利用  
(株)荏原製作所 戸田久之、柏木誠司 (株)荏原総合研究所 片岡直明
- E 3 **土壌・地下水汚染 【 10月22日(水) 第3会場 13:00-14:45 】**
- P 2 E 3-1 コンソーシアム方式による土壌汚染対策の提案研究事例  
(財)オイスカ 森 義信 大阪市 澤地 實 和歌山大学 平田健正
- E 3-2 土壌・地下水汚染修復技術選択のためのデータベース構築に向けた提案  
(株)大林組 佐々木哲男、峠 和男 北海道大学 古市 徹
- P 1 E 3-3 土壌・地下水汚染の修復技術選択方法のシステム化  
(株)大林組 峠 和男、佐々木哲男 北海道大学 古市 徹
- P 2 E 3-4 土壌・地下水汚染診断修復総合データ管理システムの開発 ~ 汚染現場の3次元表示 ~  
東和科学(株) 森下兼年 北海道大学 石井一英、古市 徹
- E 3-5 土壌・地下水汚染の調査・解析データモデルの構築とその実汚染現場への適用  
北海道 南部 稔 北海道大学 古市 徹、石井一英
- P 2 E 3-6 ヒ素による土壌・地下水汚染対策のためのトレーサ試験と数値シミュレーションを用いた汚染拡散解析  
北海道大学 成川政充、古市 徹、石井一英
- P 1 E 3-7 廃棄物起因の地下水汚染調査における地形調査と高密度電気探査の重要性  
(株)建設技術研究所 和田卓也 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 3-8 原位置底部工法に用いる高比重泥水の性状  
西武建設(株) 三村 卓 (株)浅沼組 市川隆文 (株)ホー جون 古賀 慎
- E 3-9 改良型電気抵抗式溶融技術による高含水ダイオキシン類汚染土壌の無害化  
宇部興産(株) 太田幹夫、寺田隆彦 (株)鴻池組 安福敏明
- P 2 E 3-10 マグネシウム系固化材による重金属等汚染土壌の固化・不溶化処理に関する検討  
(株)鴻池組 大山 将、小山 孝、日高 厚

- P 1 E 3-11 -Fe・Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>複合粒子による重金属類の不溶化  
戸田工業(株) 沖中健二、角屋浩司、沖田朋子
- E 3-12 乾湿繰り返し作用がセメント固化体の化学特性に与える影響に関する実験的検討  
京都大学 嘉門雅史、乾 徹、佐々木和憲
- E 3-13 粉粒体システムによる重金属汚染土壌の不溶化・固化のための粒子設計  
大阪府立大学 寺下敬次郎 (株)竹中工務店 両角昌公 (株)パウレック 興津忠和
- P 2 E 3-14 重金属複合汚染土壌のフェライト法による不溶化処理  
アタカ工業(株) 船石圭介、関 廣二、一瀬正秋
- E 3-15 汚染土壌に含まれる有害重金属の不溶化材に関する研究  
(株)宇部三菱セメント研究所 五十嵐秀明 (財)関西環境管理技術センター 武甕孝雄  
(株)宇部三菱セメント研究所 田坂行雄

E 4 有害性試験 【 10月22日(水) 第3会場 15:00-16:30 】

- E 4-1 廃棄物焼却飛灰から酢酸緩衝液への重金属溶出挙動  
鹿児島大学 大木 章、宮廻 寛、高梨啓和
- P 1 E 4-2 固形廃棄物試料の迅速溶出試験と有害性評価  
東京工業高等専門学校 中山秀謹、庄司 良 (独)国立環境研究所 山田正人
- E 4-3 オイルパームの葉を原料とする飼料の鉛含量について  
(独)農業環境技術研究所 川崎 晃 マレーシア農業開発研究所 Mohd. Safidin b. Kashim  
国際協力事業団 佐藤純一
- E 4-4 一般廃棄物の焼却排ガスに由来するカドミウムの水田土壌への寄与  
(独)産業技術総合研究所 小野恭子、蒲生昌志
- E 4-5 道路近傍の公園砂場における重金属分布とそのbioavailability  
岡山大学 山田亜矢、小野芳朗 セイコーインスツルメンツ(株) 並木健二
- P 2 E 4-6 廃棄物関連試料中の難揮発性化学物質分析に用いる液体クロマトグラフィー質量分析法(LC/MS)基礎技術の開発1  
(独)国立環境研究所 鈴木 茂、安原昭夫、酒井伸一
- E 4-7 ガスクロマトグラフ法による土壌油分の分析について  
コスモ石油(株) 村田和巳、宮地伸也
- E 4-8 古畳に含まれる有害化学物質による環境影響等調査  
(財)廃棄物研究財団 杉山吉男、鉄山一州、南 亮太

E 5 有害廃棄物処理 【 10月22日(水) 第3会場 10:00-11:45 】

- E 5-1 ミカン廃棄物の有効利用によるホタテ貝内臓からのカドミウムの除去の効率化  
佐賀大学 井上勝利 (株)北陽 Kedar Nath Ghimire (有)山曹ミクロン 牧野賢次郎
- P 1 E 5-2 菌体固定化ビーズによる排水中重金属の除去及び回収  
興和(株) 鈴木宏典、中尾裕史
- E 5-3 HZr<sub>2</sub>(PO<sub>4</sub>)<sub>3</sub>による有害金属元素の固定化技術  
新居浜工業高等専門学校 中山 享、中田寛子 第一稀元素化学工業(株) 伊藤克彦
- E 5-4 廃液中の塩類を触媒に用いた超臨界水酸化処理プロセスの開発  
東京大学 高橋史武、山本和夫、福士謙介
- E 5-5 水素 - 酸素燃焼炎に誘起されるラジカルによる水溶液内反応  
東北大学 曾我部尚弘、内田美穂、奥脇昭嗣
- E 5-6 促進酸化処理によるダイオキシン類およびPCB分解に関する研究  
倉敷紡績(株) 吉垣英治、牧 教雄、田中忠玄
- E 5-7 POPs 処理技術の開発  
(株)クボタ 堀井安雄、塩山昌彦、南 宏和
- P 2 E 5-8 ガンマアルミナによる難分解性有機塩素化合物の脱塩素メカニズムの研究  
山口大学 池田 攻 宇部興産(株) 太田幹夫、寺田隆彦
- E 5-9 金属Na分散体法による有機塩素系農薬処理  
神鋼パンテック(株) 小倉正裕、加賀城直哉、川井隆夫

F International session 【 Wednesday, October 22 Multi-Purpose Hall 16:00-17:30 】

- P F-1 Analysis of Plasma Thermal Destruction of PCB's  
Gary J. HANUS, Phoenix Solutions Co. Tadashi MORITA, NITEC Corporation Masami SAKAI, ArTech
- P F-2 Pyrolysis Kinetics of Commingled Agricultural Plastic Films  
In-Hee HWANG, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul Seungdo KIM, Hallym University

- ~~P~~ F-3 The Relationship between PCDDs/DFs and Combustion Parameters in Waste Incinerators  
 ————— Ki-In CHOI, Jong-Sook HAN, Sang-Yee HAM, The University of Seoul
- P F-4 The Behavior and Distribution of PCDDs/DFs through the Waste Incineration Process  
 Sang-Yee HAM, Ki-In CHOI, The University of Seoul Jae-Hyo LEE, DK Science
- ~~P~~ F-5 The Estimation of PCDDs/DFs Amount from Waste Incinerators in Korea  
 ————— Ki-In CHOI, Ki-Hyung LEE, Sang-Yee HAM, The University of Seoul
- P F-6 Comparative Study of Thermal Degradation of Special Thermoplastics  
 Kyong-Hwan LEE, Dae-Hyun SHIN, Korea Institute of Energy Research  
 Young-Hwa SEO, Suwon Science College
- P F-7 A preliminary study for model development of methane oxidation in landfill cover soil  
 Jeongdae IM, Jae Young KIM, Kyungphile NAM, Seoul National University
- P F-8 Environmental Impacts of Open-dumping Landfill to Lagoon Sediments -A Case Study in Bizerte Lagoon, Northern Tunisia  
 Mitsuo YOSHIDA, JICA Helmi HAMDI, Hamadi KALLALI, INRST
- P F-9 Questionnaire survey on resident's concerns and attitudes of SWM Facility  
 Benno RAHARDYAN, Toshihiko MATSUTO, Yoshitada KAKUTA, Hokkaido University
- P F-10 Test cell experiments on in-situ accelerated biostabilization of MSWI bottom ash and shredded incombustible waste mixes  
 Bulent INANC, Kazuto ENDO, Yuzo INOUE, National Institute for Environmental Studies
- P F-11 Removal of organic substances from incinerator bottom ash  
 Andre Luis GUIMARAES, Wataru NISHIJIMA, Mitsumasa OKADA, Hiroshima University
- P F-12 Characteristics of Oxygen/Air Combustion and Ash in Incineration  
 Yoshiaki MATSUZAWA, Shunichiro UENO, Junya NISHINO, Ishikawajima-Harima Heavy Industries Co.,Ltd.
- P F-13 A Study on Settlement of MSW by Recirculation Liquid and Gas in Laboratory Scale Lysimeters  
 Seung-Whee RHEE, Kyonggi University  
 Jong-Youl LEE, Yong-Soo KIM, Beautiful Environmental Construction Co. Ltd
- P F-14 Influence on the Formation of Microstructure and the Adsorptivity of Adsorbent made from Fly Ash by Adding Metal Oxides  
 Woo-Keun LEE, Dong- Seok RHEE, Young-Sook SHIM, Kangwon National University
- P F-15 Emission of Mercury and Other Heavy Metals from Small & Medium size MSW Incinerators in Korea  
 Bu-Shik MOON, Han-Kook LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- ~~P~~ F-16 The Distribution Characteristics of the PCDDs/DFs in Soil in the Vicinity of the Waste Incinerator Facilities  
 ————— Young-Kyu LEE, Ki-In CHOI, Sang-Yee HAM, The University of Seoul
- P F-17 Environmental Loads in Different Size Incinerators of MSW  
 Soon Sim CHOI, Sung Han YOON, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P F-18 Assessing Criteria on the Bed Agglomerate Formation during Fluidized Bed Incineration of Various Fuels  
 Jea-Keun LEE, Kyoung-Hee KIM, Pukyong National University Jeong-Gook JANG, Dongseo University
- P F-19 Gasification characteristics of various municipal solid wastes in a fluidized bed reactor  
 Byung-Joon PARK, Jae-Ho JEONG, Kang-Soo LEE, Changwon National University
- P F-20 Application of CCSEM to the Characterization of Chemical Species in PM<sub>10</sub> Emitted from Combustion of Sewage Sludge  
 Lian ZHANG, Yoshihiko NINOMIYA, Chubu University
- P F-21 Wet Air Oxidation of Sewage Sludge for Sludge Removal and Production of Carbon Source  
 Jae-Hwan AHN, Wan-Seon CHO, Joon-Sik HONG, Korea Institute of Construction Technology
- P F-22 Pyrolysis of PE, PP, PS, and PVC mixed with PET and distribution of degradation Products  
 Thallada BHASKAR, Yusaku SAKATA, Akinori MUTO, Okayama University
- P F-23 Implementation Possibilities of Reverse Logistics and Technologies For Plastics Recovery in Hyogo Eco Town Project  
 Helmut YABAR, Tohru MORIOKA, Osaka University



- P F-24 Valuation of Municipal Solid Waste Compost of Tunis(Tunisia) -Agronomic Aspect  
Helmi HAMDI, Naceur JEDIDI, Fethia AYARI, INRST
- P F-25 Biological Solubilization and Mineralization as Novel Approach for the Pre-Treatment of Food Waste  
Hazel B. GONZALES, Wataru NISHIJIMA, Mitsumasa OKADA, Hiroshima University
- P F-26 Mass balance analysis on manure composting process with different bulking agents  
Jing-Chun TANG, Arata KATAYAMA, Nagoya University
- P F-27 Health Care Waste Management in Need of Rational Strategy  
Ashok V. SHEKDAR, Naoki KANECO, Masaru TANAKA, Okayama University
- P F-28 Production and Characteristics of Landfill Gas by Recirculation Liquid and Gas in Laboratory Scale Lysimeters  
Seung-Whee RHEE, Kyonggi University  
Jong-Youl LEE, Yong-Soo KIM, Beautiful Environmental Construction Co. Ltd
- P F-29 Estimation of Environmental Improvement of Mechanical-Biological Pretreatment of MSW on Landfill by LCA  
Sung-Han YOON, The University of Seoul  
Dong-Cheon SEO, Bong-Hyun PARK, SUDOKWON Landfill Site Management Corporation
- P F-30 A Study on Characteristics for Oxygen Transfer during Windrow Composting  
Jeong An KWON, Sung-Hwan KWON, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P F-31 Evaluation for Various Household Foodwaste Treatment Devices (HFTDs)  
Sung-Hwan KWON, Soon Nam PARK, Sung Han YOON, The University of Seoul
- P F-32 Thermal Pretreatment for Progress of Acidogenic Fermentation Process using Organic Waste Sludge  
Tae-Kyu EOM, Dong-Yueb HAN, The University of Kyungsoo
- P F-33 Co-combustion Characteristics of Sewage Sludge Pellet and RPF  
Won-Soo LEE, Guang-Zhu JIN, Ho-Soo LEE, Changwon National University
- P F-34 Distribution Characteristics of Potentially Toxic Elements(PTEs) in and around Closed Solid Waste Landfill near Tunis, Tunisia  
Abdoul Nasser IBRAHIM, INRST Jamila TARHOUNI, National Institute of Agronomy Mitsuo YOSHIDA, JICA
- P F-35 The Leaching Characteristics of Heavy Metals from Steel Making Slag using Seawater  
Han-Kook LEE, Bu-Shik MOON, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P F-36 Odorous Compounds and VOCs in MSW Landfill  
Eun-Jeoung JEON, Sung-Jin BAE, The University of Seoul  
Sirima PANYAMETHEEKUL, Chulalongkorn University
- P F-37 The Evaluation of the Impermeable Function in the Clay Liner with Synthetic Fiber  
Eun-Jin LIM, Sung-Hun JUNG, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- P F-38 A Study of Recycled Waste Tire as a Sorption Media for the Permeable Reactive Wall  
Soo-bong JUNG, Sang-Hyun PARK, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- P F-39 A Study on Effects of HDPE Strain Induced by Settlement in The Final Cover System  
Chul-Hwan MOON, Wan-Soo HAN, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- P F-40 A Study on the Use of Contaminated Dredged Sediment and Wasted Material for Building Brick Production  
Jae-Hwan AHN, So-Jung KIM, Joon-Sik HONG, Korea Institute of Construction Technology
- P F-41 Preparation of Biosolid using the Sludge through Low Temperature Thermal Treatment  
Weon Joon LEE, Yosun National University Oh Sub YOON, Hanbat National University

# 廃棄物学会研究発表会 発表ガイドライン

## 《口頭発表ガイドライン》

第14回研究発表会においては、一般口頭発表の形式として従来のOHPによる講演に加えて液晶プロジェクターによる講演が選択できます。

### 1. 共通事項

- ・発表者であっても参加費（論文集代込み）は必要です。
- ・講演時間に遅刻した場合は発表できないことがあります。
- ・論文受付時点で申請した登壇者を変更する場合は、10月17日（金）までに廃棄物学会事務局論文受付係（fax.03-3769-1492）までFAXにて届け出て下さい。ただし、他に登壇予定がある発表者への変更は認められません。
- ・発表の講演時間は、発表10分、質疑応答5分の計15分です。時間を超過した場合には、発表の途中でであっても座長に打ち切られることがあります。
- ・聴衆者に良く理解されるような発表を行って下さい。

### 2. OHP 利用者

- ・OHPは、1cm角以上の文字で単純なグラフ、スケッチを用いてシンボリックな表記をして下さい。

### 3. 液晶プロジェクター利用者

廃棄物学会の一般講演としては初めての試みであるため、事前に講演ファイルをお送り頂いた発表者に利用を限らせて頂きます。いくつかの制約に関してご不便をおかけしますが、スムーズな進行を期すためとご容赦いただき、以下の注意事項に従ってファイルを作成して下さい。

#### (1) ファイルの作成について

講演で使用されるファイル（講演ファイル）のインストールと動作確認を事前に行います。

- ・ファイル形式等：講演ファイルはMicrosoft PowerPoint®で作成し、ファイルの容量は最大でも10MB程度に収まるようお願い致します。
- ・ファイル名：「セッション番号 演者の氏名.ppt」として下さい。（例：「A1-1 廃棄物太郎.ppt」）
- ・ファイルの送付：3.5インチ2HDフロッピーディスク、MOまたはCD-Rにて下記まで送付して下さい。送付いただくメディア内には、講演ファイルのみを入れて下さい。メディアのラベル上に、ファイル名、連絡先の電子メールアドレス（講演ファイル受領の連絡を電子メールで致します）を必ずお書き添え下さい。ファイルの送付後10月16日までに確認の連絡がない場合は、学会事務局（Tel：03-3769-5099）までご連絡下さい。
- ・締切り：**10月10日（金）必着**
- ・送付先：〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5階 研究発表会 ppt ファイル受付係

#### (2) 発表当日

- ・各講演会場に講演ファイルをインストールしたノートパソコンと液晶プロジェクターを用意します。講演ファイルは大会終了後に専用の消去ソフトウェアによりハードディスク上から消去致します。
- ・液晶プロジェクターに接続されるノートパソコンのオペレーティングシステムはMicrosoft Windows® XPで、使用ソフトはPowerPoint® 2002です。各会場に配置されるプロジェクターの解像度はXGA(1024×768)です。
- ・ノートパソコンは演台に設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演を行って下さい。
- ・ファイルの返却：記録メディアは原則として大会当日、返却します。（返却場所は受領確認メールにてお知らせします。）

#### (3) その他

- ・講演ファイル送付後に変更を希望される方は、研究発表会開催中に大会事務局（つくば国際会議場 小会議室304）まで、使用するファイルをCD-Rまたは3.5インチフロッピーディスクに入れてご持参下さい。できる限り対応致しますが、ご希望に添えない場合もございます。
- ・予想外のトラブルのため、液晶プロジェクターでの講演が不能となった場合に備え、講演内容のOHPもご用意いただくことをお勧めいたします。

## 《ポスター発表ガイドライン》

ポスター発表は、2日に分けて行われます（ポスター発表P1は1日目、ポスター発表P2は2日目）。また、優れたポスターに対して、優秀ポスター賞を設けています。2日目の懇親会において、発表及び表彰を行いますので、力作を持ってご参加下さい。

1. 発表者であっても参加費（論文集代込み）は必要です。
2. ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおり。

貼付：10月22日(水)10:00-13:00

発表：

国際セッション - 10月22日(水)16:00-17:30

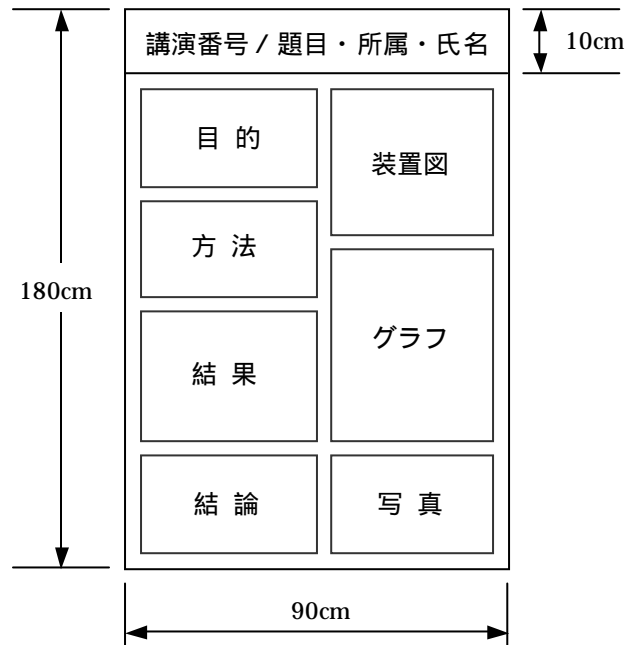
ポスター発表P1 - 10月22日(水)17:00-18:30

ポスター発表P2 - 10月23日(木)11:00-12:30

撤収：10月23日(木)17:00 - 10月24日(金)12:00

（できる限り3日間掲示してください。撤収は必ず発表者の責任でお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄しますが、毎年多大な負担となっています。ご協力下さい。）

3. 発表者は、ポスター貼付前に会場受付にて到着した旨を伝え、発表者リボン、貼り付け用マジックテープを受け取り、注意事項を聞く。
4. 発表者は発表時間の間は、ポスターの前で説明を行う。
5. 論文1件あたりのパネルの大きさは、タテ180cm×ヨコ90cmなので、その範囲内に収まるようにポスターを作成する（図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても可）。ただし、パネルの最上部には、講演番号、題目、所属、氏名を記入した10cm×90cmの用紙を必ず貼ること。
6. パネルへの貼り付けにはマジックテープ（会場受付にて配布）を使用すること。
7. ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とする。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とする。また、商品宣伝の意図を強く出した内容のものも不可とする。



【ポスター作成例】

# 会場内案内図

